

令和 2 年度三重県公営企業会計（病院事業庁）

決算審査意見書

令和 3 年 9 月

三重県監査委員

監 査 第 3 8 号
令和 3 年 9 月 28 日

三重県知事 一 見 勝 之 様

三重県監査委員 伊 藤 隆
三重県監査委員 下 野 幸 助
三重県監査委員 木 津 直 樹
三重県監査委員 内 田 典 夫

令和 2 年度企業会計決算の審査について

地方公営企業法第 30 条第 2 項の規定に基づき令和 3 年 5 月 31 日付け総務第 07-46 号
で審査に付されたこのことについて、別添のとおり意見書を提出します。

目 次

第1	審 査 の 概 要	1
1	審 査 の 対 象	1
2	審査の着眼点及び実施内容	1
第2	審 査 の 結 果 及 び 意 見	2
1	審 査 の 結 果	2
2	審 査 の 意 見	2
第3	経 営 の 概 要	7
1	事 業 の 概 況	7
2	患 者 数 の 状 況	7
3	決 算 の 状 況	8
第4	病 院 別 の 状 況	18
1	こころの医療センター	18
2	一 志 病 院	22
3	志 摩 病 院	26
第5	決 算 諸 表	32

令和2年度三重県公営企業会計（病院事業庁）決算審査意見書

第1 審査の概要

三重県監査委員監査基準（令和2年4月1日施行）に準拠し、次のとおり令和2年度三重県公営企業会計（病院事業庁）決算審査を実施した。

1 審査の対象

令和2年度 三重県病院事業会計

2 審査の着眼点及び実施内容

令和2年度三重県病院事業会計の決算審査は、知事から審査に付された決算書並添付書類の内容について、

- (1) 決算の計数は正確であるか
- (2) 決算諸表は、経営成績及び財政状態を適正に表示しているか
- (3) 予算は、計画的かつ効率的に執行されているか
- (4) 事業経営は、常に経済性の発揮及び公共の福祉を増進するよう運営されているか

などを重点に、会計諸帳票、証拠書類との照合精査を行うとともに、必要な資料の提出を求め、関係当局の説明を聴取し、併せて定期監査、例月出納検査等の結果を参考に、慎重に審査を行った。

第2 審査の結果及び意見

1 審査の結果

三重県病院事業庁が経営している病院事業の決算諸表は、地方公営企業法及び関係法令に則り、病院事業庁会計規程に基づいて作成されており、その計数は正確であり、経営成績及び財政状態を適正に表示しているものと認められる。

また、事業の経営については、以下の意見のとおり留意又は改善を要するものを除き、概ね適正に処理されているものと認められる。

2 審査の意見

(1) 令和2年度決算と中期経営計画に基づく病院事業の運営について

令和2年度病院事業会計については、新型コロナウイルス感染症（以下「感染症」という。）の影響による入院・外来患者数の減少により、医業損益は前年度に比べ約4億730万円悪化したが、感染症対策に係る国からの交付金等により一般会計繰入金が増加したことなどから、収益的収支は約4億4,091万円の黒字となった。また、未処理欠損金（累積欠損金）は改善があったものの、依然として約88億円と多額である。

「三重県病院事業 中期経営計画（平成29年度～令和2年度）」の成果目標については、感染症の影響もあり、達成項目は計画期間内で最も少なくなった。そのような中、令和3年度からの次期中期経営計画については、令和2年度において策定予定であったが、中期的な見通しが困難な状況であったことから、令和3年度の計画については、計画期間を1年間延長し単年度計画として策定した。

このため、感染症の状況を踏まえ、感染症が事業運営に与える影響に留意しながら、計画の目標達成に向けて取り組み、医業収益の確保を図るなど、経営の健全化に努めるとともに、各病院がそれぞれの役割・機能を十分に発揮できるよう、各病院を取り巻く環境や求められる医療ニーズを踏まえ、次期中期経営計画を策定されたい。

なお、令和2年度の各病院の収支状況及び留意事項については、次のとおりである。

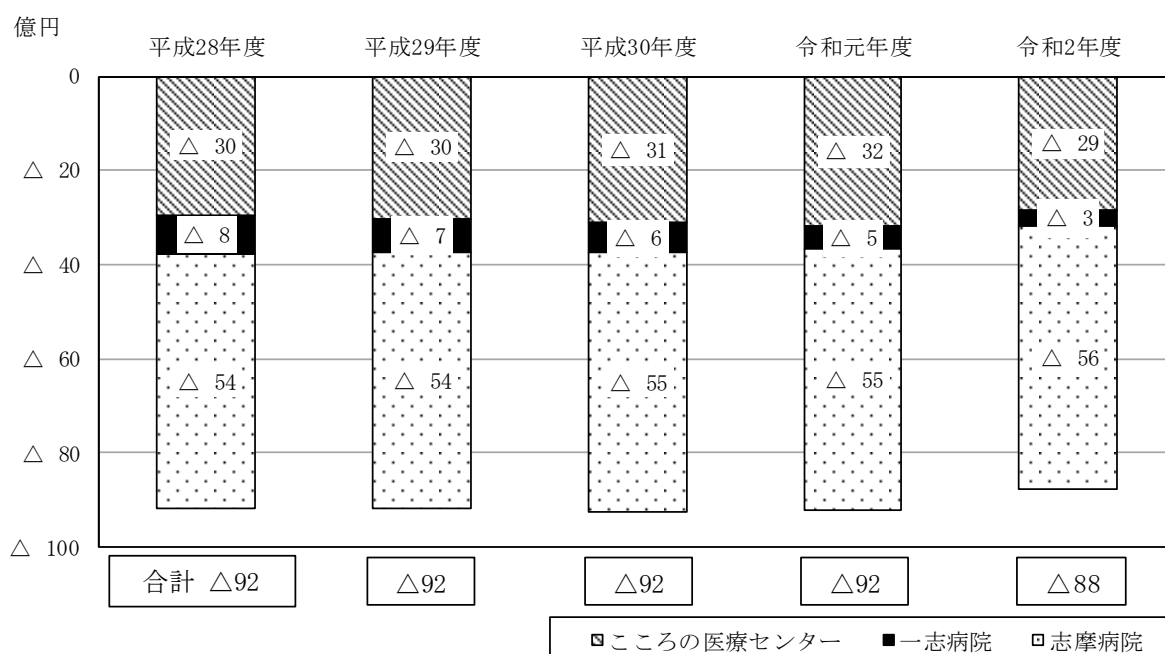
収益的収支の状況

(単位：円)

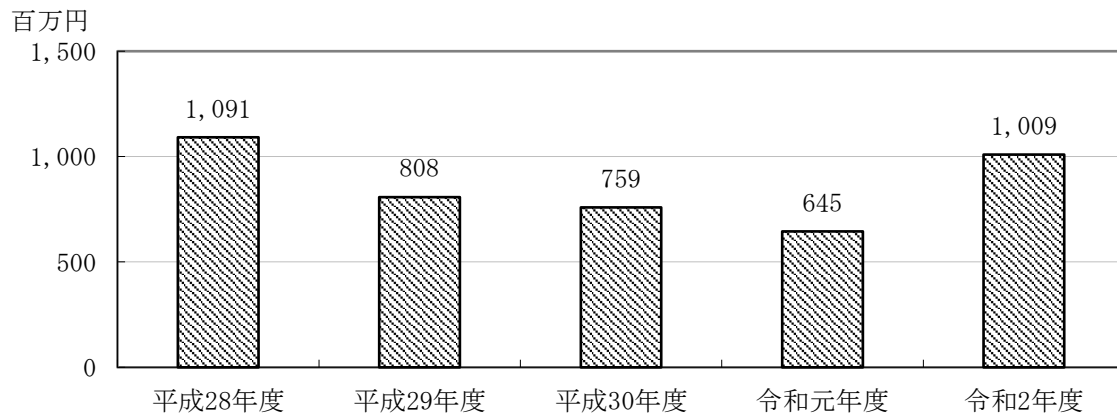
病院名等	区分	令和2年度	平成元年度	比較増減
こころの医療センター	医業損益	△ 1,258,561,760	△ 985,586,038	△ 272,975,722
	経常損益	335,704,793	△ 73,516,334	409,221,127
	純損益	335,704,793	△ 73,516,334	409,221,127
一志病院	医業損益	△ 202,245,120	△ 175,886,602	△ 26,358,518
	経常損益	177,722,432	150,662,321	27,060,111
	純損益	177,722,432	150,662,321	27,060,111
志摩病院	医業損益	△ 1,145,100,257	△ 1,033,605,285	△ 111,494,972
	経常損益	△ 72,512,610	△ 55,693,429	△ 16,819,181
	純損益	△ 72,512,610	△ 55,693,429	△ 16,819,181
県立病院課	医業損益	△ 98,734,663	△ 102,266,186	3,531,523
合計	医業損益	△ 2,704,641,800	△ 2,297,344,111	△ 407,297,689
	経常損益	440,914,615	21,452,558	419,462,057
	純損益	440,914,615	21,452,558	419,462,057

(注) 医業損益は、医業収益から医業費用を差し引いたもの。経常損益は、医業損益に医業外収益を加えて医業外費用を差し引いたもの。純損益は、経常損益に特別利益を加えて特別損失を差し引いたもの。なお、志摩病院は指定管理者の収支を含んでいない。

各年度未処理欠損金（累積欠損金）の推移



内部留保資金の推移



(注) 流動資産から流動負債（企業債を除く）を差し引いたもので、資金繰りの状況を示す数値。
資金不足比率の算出方法に基づき算出している（平成29年度から算出方法が変更）。

ア こころの医療センター

新型コロナウイルス感染症の影響による入院・外来患者数の減少により、医業収益は減少したが、感染症対策に係る国からの交付金等により一般会計繰入金約 6 億 4,697 万円増加したことなどから、収益的収支は、前年度に比べ約 4 億 922 万円改善し、平成 28 年度以来 4 年ぶりとなる約 3 億 3,570 万円の黒字となった。

平成 30 年度から進めている経営改善プロジェクトについては、多職種連携による適切かつ円滑な病床管理による入院診療単価の増加や、地域の医療・福祉施設等との連携による長期入院患者の地域移行等の成果が出ていることから、感染症の状況も踏まえ、引き続き、経営の健全化に努められたい。

また、今後も精神科医療の中核病院として、精神科救急・急性期医療及び認知症治療、依存症治療等の専門的医療を提供するとともに、「入院医療中心から地域生活支援中心へ」という精神科医療の方向性を踏まえ、多様な医療ニーズに応じたきめ細かなサービスの提供に努められたい。

イ 一志病院

収益的収支は、前年度に比べ約 2,706 万円増加し、平成 25 年度から 8 年連続となる約 1 億 7,722 万円の黒字となった。

今後も入院・外来患者数の確保や訪問診療等の在宅療養支援、住民健診等の予防医療の取組を通じて収益の増加を図るなど、引き続き、健全な経営に努められたい。

また、地域の過疎化、高齢化が進み、住民の医療ニーズがより一層高まっている中、総合診療医やプライマリ・ケアを担う人材育成に取り組むとともに、総合診療医を中心としたプライマリ・ケアの実践に取り組むなど、引き続き、地域に最適な医療サービスの安定的な提供に努められたい。

ウ 志摩病院

志摩病院では、平成 24 年度以降、指定管理者制度により病院経営を行っているが、令和 3 年度は現指定期間の最終年度となることから、令和 2 年度に次期指定期間（令和 4 年度～13 年度）の管理者として、引き続き公益社団法人地域医療振興協会を指定し、「三重県立志摩病院の管理運営に関する基本協定書」を締結した。

これまで、稼働病床の段階的増床や内科系救急における 24 時間 365 日の受入、小児救急の一部再開などを実現しているが、外科系における救急受入体制の回復や一部診療科における常勤医師の配置が進んでいない。

このため、令和 3 年度は、新たな基本協定を見据え、志摩地域の中核病院として、地域のニーズや状況に応じた役割・機能を提供できるよう、次期指定期間に向けた準備を進められたい。また、人口減少など志摩病院を取り巻く環境が変化する中、医師の確保や診療機能の充実強化等に取り組むことにより、経営改善が着実に進められるよう指定管理者に対する指導や支援を行われたい。

(2) 未収金の回収と発生防止について

令和2年度末における病院事業庁全体の診療費自己負担金の過年度未収金は、前年度に比べて約544万円減少し、約5,780万円となっている。

令和2年度については、電話督促、催告書等の送付及び臨戸訪問を行い、回収困難案件については弁護士法人に回収委託を行うなどにより、約723万円の過年度未収金を回収しているところであるが、引き続き、早期回収に向けての取組を進められたい。

また、新規の発生額は3年続けて減少したが、令和2年度は約318万円発生しているため、引き続き、未収金の発生防止に取り組まれたい。

診療費自己負担金の過年度未収金

(単位：千円)

病 院 名	令和2年度末(A)		令和元年度末(B)		比較増減(A)-(B)	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
こころの医療センター	296	42,572	299	46,998	△ 3	△ 4,426
一 志 病 院	17	1,081	14	756	3	325
志 摩 病 院	113	14,143	124	15,484	△ 11	△ 1,342
合 計	426	57,796	437	63,238	△ 11	△ 5,443

(注) 1 志摩病院分は、指定管理者による運営に移行する以前の未収金（平成24年3月31日までに発生したもの）であり、本庁（県立病院課）が所管している。

2 四捨五入のため、合計等が合わない場合がある。

未収金増減の内訳

(単位：千円)

病院名	令和2年度				令和元年度				比較増減		
	新規発生(A)	回収(B)	不納欠損(C)	計(A-B-C)	新規発生(a)	回収(b)	不納欠損(c)	計(a-b-c)	新規発生(A-a)	回収(B-b)	不納欠損(C-c)
こころの医療センター	2,709	5,920	1,215	△4,426	3,264	3,874	2,443	△3,053	△555	2,046	△1,228
一志病院	466	141	0	325	356	269	0	87	111	△127	0
志摩病院	0	1,170	172	△1,342	0	1,368	643	△2,011	0	△198	△472
合 計	3,176	7,231	1,387	△5,443	3,620	5,510	3,087	△4,977	△444	1,721	△1,700

(注) 四捨五入のため、合計等が合わない場合がある。

第3 経営の概要

1 事業の概況

病院事業は、病院事業庁が総合医療センター、こころの医療センター、一志病院及び志摩病院の4病院を経営してきたが、平成24年4月からは、総合医療センターが地方独立行政法人に移行したことから3病院になったほか、志摩病院については指定管理者制度を導入している。

3病院の許可病床数は、令和2年度末時点で計770床である。こころの医療センターは、許可病床数、稼働病床数ともに348床である。一志病院は、許可病床数は86床であるが、療養病床全40床が休床となっており、稼働病床数は一般病床46床である。志摩病院は、許可病床数が336床であるが、一般病床52床が休床となっており、稼働病床数は一般病床184床及び精神病床100床の合計284床である。

県立病院の概要

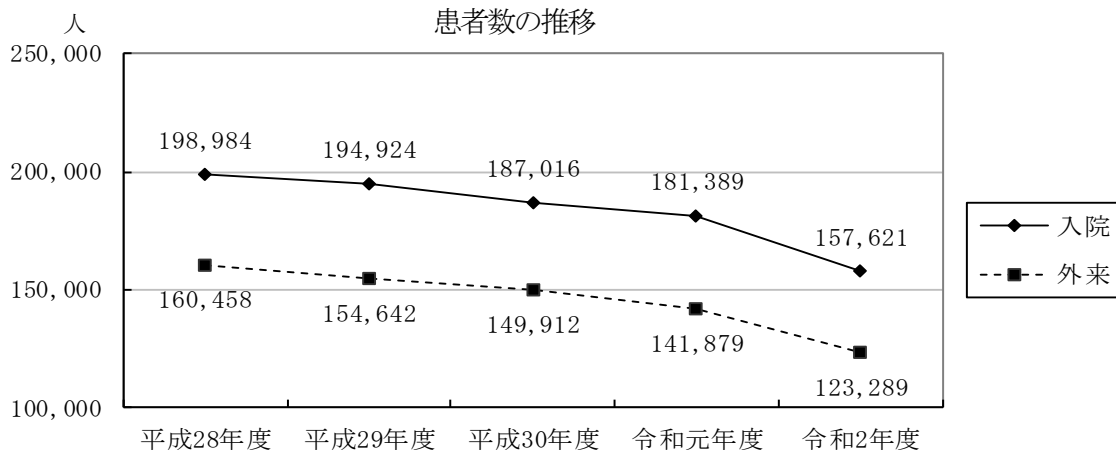
令和3年3月31日現在

病院名		こころの医療センター	一志病院	志摩病院
診療科目 (休診中のものを除く)		精神科、内科、 脳神経内科、歯科 (内科・歯科は入院患者にのみ対応)	内科、外科、眼科	内科、循環器科、外科、 脳神経外科、小児科、 産婦人科、整形外科、 皮膚科、泌尿器科、 眼科、耳鼻咽喉科、 精神科、脳神経内科、 放射線科
許可病床数	一般		46 (46)	236 (184)
	療養		40 (0)	
	精神	348 (348)		100 (100)
	計	348 (348)	86 (46)	336 (284)

(注) 許可病床数の()は、稼働病床数

2 患者数の状況

令和2年度の入院患者数は延べ157,621人(1日平均432人)で、前年度に比べ23,768人減少し、外来患者数は延べ123,289人(1日平均507人)で、前年度に比べ18,590人減少している。



3 決算の状況

(1) 予算の執行状況

ア 収益的収入及び支出

収 入

(単位：円)

区 分	予算額(A)	決算額(B)	予算額に対する 決算額の増減 (B)-(A)	収入歩合 (B)/(A)
病院事業収益	5,798,967,000	5,849,582,128	50,615,128	100.9%
医業収益	2,450,218,000	2,477,643,557	27,425,557	101.1%
医業外収益	3,348,749,000	3,371,938,571	23,189,571	100.7%

(注) 本表の金額は、消費税及び地方消費税を含む。

支 出

(単位：円)

区 分	予算額(A)	決算額(B)	不用額 (A)-(B)	執行率 (B)/(A)
病院事業費用	5,436,091,000	5,406,062,955	30,028,045	99.4%
医業費用	5,286,530,532	5,256,502,487	30,028,045	99.4%
医業外費用	149,560,468	149,560,468	0	100.0%

(注) 本表の金額は、消費税及び地方消費税を含む。

- ① 病院事業収益の決算額が予算額に対し5,061万5,128円上回っているのは、主に一般会計からの繰入金の増による医業外収益の増による。
- ② 病院事業費用の決算額が予算額に対し3,002万8,045円下回っているのは、主に経費（主に委託費、光熱水費）、給与費等の医業費用の執行残による。

イ 資本的収入及び支出

収 入

(単位：円)

区 分	予算額(A)	決算額(B)	予算額に対する 決算額の増減 (B)-(A)	収入歩合 (B)/(A)
資本的収入	1,590,034,000	1,528,721,810	△ 61,312,190	96.1%
企業債	238,800,000	230,100,000	△ 8,700,000	96.4%
県費負担金	499,232,000	448,207,000	△ 51,025,000	89.8%
短期貸付金返還金	850,000,000	850,000,000	0	100.0%
国庫補助金	2,002,000	414,810	△ 1,587,190	20.7%

(注) 本表の金額は、消費税及び地方消費税を含む(ただし、課税取引なし)。

支 出

(単位：円)

区 分	予算額(A)	決算額(B)	繰越額(C)	不用額 (A)-(B)-(C)	執行率 (B)/(A)
資本的支出	1,981,538,000	1,931,729,476	48,984,000	824,524	97.5%
建設改良費	353,219,000	303,412,185	48,984,000	822,815	85.9%
企業債償還金	687,719,000	687,717,291	0	1,709	100.0%
長期借入金償還金	90,000,000	90,000,000	0	0	100.0%
長期貸付金	600,000	600,000	0	0	100.0%
短期貸付金	850,000,000	850,000,000	0	0	100.0%

(注) 本表の金額は、消費税及び地方消費税を含む。

- ① 資本的収入の決算額が予算額に対し6,131万2,190円下回っているのは、主に一般会計からの繰入金の減による。
- ② 資本的支出の決算額と繰越額の合計が予算額に対し82万4,524円下回っているのは、主に資産購入費等の建設改良費の執行残による。
- ③ 資本的収入額が資本的支出額に不足する額4億300万7,666円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額179万2,854円及び過年度分損益勘定留保資金4億121万4,812円で補てんしている。

(2) 経営成績

病院事業の収益的収支

(単位：円)

科目	令和2年度 (A)	令和元年度 (B)	比較増減 (A) - (B)	比率 (A) / (B)
総収益	5,833,342,108	5,283,875,815	549,466,293	110.4%
医業収益	2,465,849,901	2,747,206,222	△ 281,356,321	89.8%
医業外収益	3,367,492,207	2,536,669,593	830,822,614	132.8%
総費用	5,392,427,493	5,262,423,257	130,004,236	102.5%
医業費用	5,170,491,701	5,044,550,333	125,941,368	102.5%
医業外費用	221,935,792	217,872,924	4,062,868	101.9%
医業損益	△ 2,704,641,800	△ 2,297,344,111	△ 407,297,689	-
経常損益	440,914,615	21,452,558	419,462,057	2,055.3%
純損益	440,914,615	21,452,558	419,462,057	2,055.3%

令和2年度の総収益は58億3,334万2,108円で、前年度に比べ5億4,946万6,293円増加している。これは主に、新型コロナウイルス感染症対策に係る国からの交付金等による一般会計繰入金の増等による医業外収益の増による。

総費用は53億9,242万7,493円で、前年度に比べ1億3,000万4,236円増加している。これは主に、志摩病院の指定管理者への交付金の増等による医業費用の増による。

この結果、純損益は4億4,091万4,615円の黒字となり、前年度に比べ4億1,946万2,057円増加している。

なお、病院別の純損益は、こころの医療センターが3億3,570万4,793円の黒字、一志病院が1億7,772万2,432円の黒字、志摩病院が7,251万2,610円の赤字となっている。

病院別純損益の状況

(単位：円)

病院名等	総収益(A)	総費用(B)	純損益(A) - (B)
こころの医療センター	3,517,616,459	3,181,911,666	335,704,793
一志病院	1,067,900,593	890,178,161	177,722,432
志摩病院	1,148,393,873	1,220,906,483	△ 72,512,610
県立病院課	99,431,183	99,431,183	0
合計	5,833,342,108	5,392,427,493	440,914,615

病院別純損益の推移

(単位：百万円)

病院名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
こころの医療センター	26	△ 75	△ 94	△ 74	336
一志病院	88	91	83	151	178
志摩病院	△ 2	13	△ 64	△ 56	△ 73
合計	112	30	△ 75	21	441

(注) 四捨五入のため、合計額が合わない場合がある。

(3) 一般会計繰入金

(単位：円)

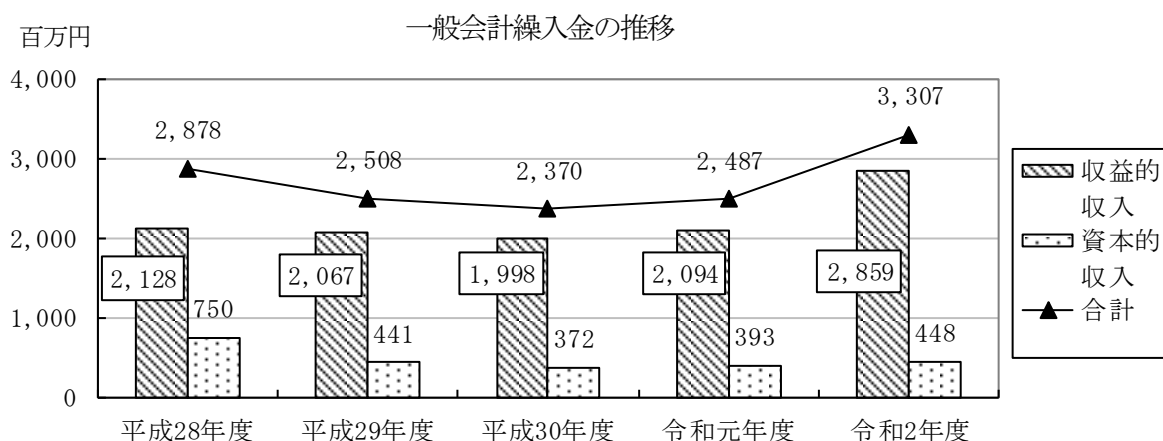
病院名等	区分	令和2年度 (A)	令和元年度 (B)	比較増減 (A)-(B)	比率 (A)/(B)
こころの 医療センター	収益的収入	1,570,166,000	923,193,000	646,973,000	170.1%
	資本的収入	263,946,000	229,720,000	34,226,000	114.9%
	計	1,834,112,000	1,152,913,000	681,199,000	159.1%
一志病院	収益的収入	349,277,000	327,003,000	22,274,000	106.8%
	資本的収入	42,143,000	15,016,000	27,127,000	280.7%
	計	391,420,000	342,019,000	49,401,000	114.4%
志摩病院	収益的収入	840,196,000	742,729,000	97,467,000	113.1%
	資本的収入	138,421,000	148,198,000	△ 9,777,000	93.4%
	計	978,617,000	890,927,000	87,690,000	109.8%
県立病院課	収益的収入	98,994,000	101,540,000	△ 2,546,000	97.5%
	資本的収入	3,697,000	0	3,697,000	皆増
	計	102,691,000	101,540,000	1,151,000	101.1%
合計	収益的収入	2,858,633,000	2,094,465,000	764,168,000	136.5%
	資本的収入	448,207,000	392,934,000	55,273,000	114.1%
	計	3,306,840,000	2,487,399,000	819,441,000	132.9%

- (注) 1 収益的収入：病院運営に係る政策的医療及び不採算医療等に要する経費の繰入金
 2 資本的収入：建設改良に要する経費の繰入金

救急医療の確保、特殊医療に要する経費など、経営による収入をもって充てることが適当でない経費等については、総務省から繰出し基準が示されており、これに基づき一般会計から繰入が行われている。

令和2年度の収益的収入の繰入金は、28億5,863万3,000円で、前年度に比べ7億6,416万8,000円増加している。これは主に、新型コロナウイルス感染症対策に係る国からの交付金等を財源とした繰入金の増による。

資本的収入の繰入金は、4億4,820万7,000円で、前年度に比べ5,527万3,000円増加している。これは主に、こころの医療センターにおける自動精算機の設置など地方創生臨時交付金等を財源とした繰入金の増による。



(4) 剰余金計算書

(単位：円)

区分	令和元年度末 残高	令和元年度 処 分 額	令和2年度 変 動 額	令和2年度末 残高
資本金	311,409,778	0	0	311,409,778
剰余金	△ 7,848,314,392	0	440,914,615	△ 7,407,399,777
資本剰余金	1,371,553,972	0	0	1,371,553,972
受贈財産評価額	12,053,972	0	0	12,053,972
補助金	0	0	0	0
県費負担金	1,359,500,000	0	0	1,359,500,000
その他資本剰余金	0	0	0	0
利益剰余金	△ 9,219,868,364	0	440,914,615	△ 8,778,953,749
未処分利益剰余金 (△は未処理欠損金)	△ 9,219,868,364	0	440,914,615	△ 8,778,953,749
資本合計	△ 7,536,904,614	0	440,914,615	△ 7,095,989,999

- ① 資本金の令和2年度末残高は、変動がなかったため、令和元年度末残高と同額の3億1,140万9,778円となっている。
- ② 剰余金の令和2年度末残高は、令和元年度末残高△78億4,831万4,392円から利益剰余金により4億4,091万4,615円改善し、△74億739万9,777円となっている。

なお、未処理欠損金の令和2年度末残高は、令和元年度末残高92億1,986万8,364円から令和2年度の純利益分4億4,091万4,615円が減少し、87億7,895万3,749円となっている。

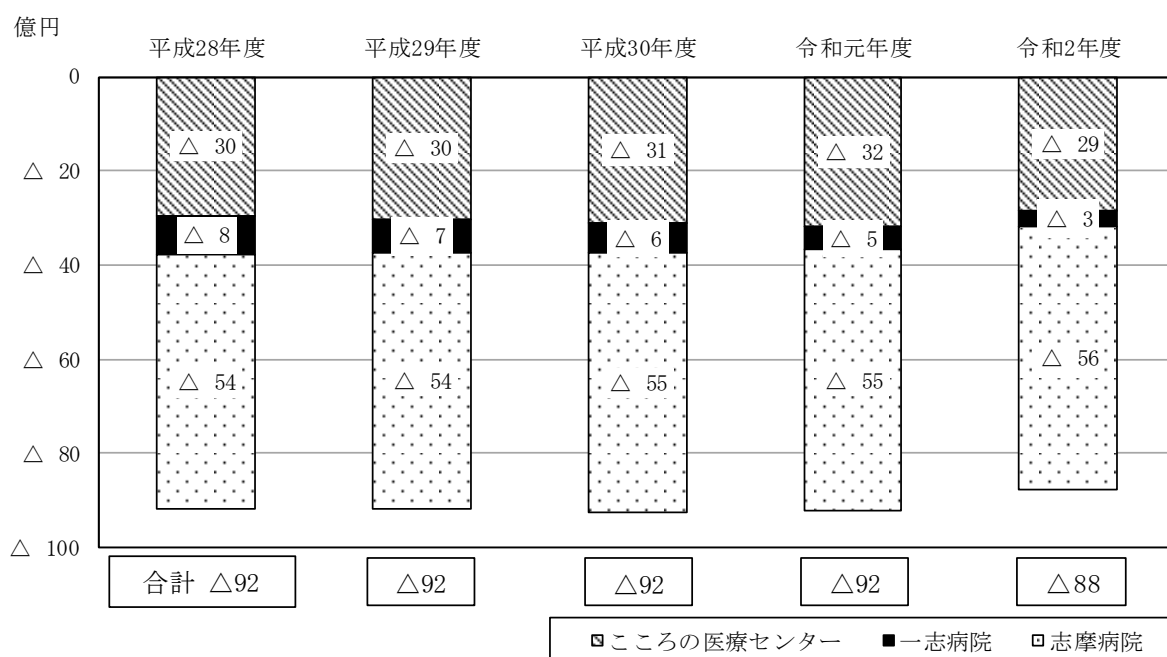
(5) 欠損金処理計算書

(単位：円)

区分	令和2年度末残高	欠損金処理額	処理後残高
資本金	311,409,778	0	311,409,778
剰余金	△ 7,407,399,777	0	△ 7,407,399,777
資本剰余金	1,371,553,972	0	1,371,553,972
未処理欠損金	△ 8,778,953,749	0	△ 8,778,953,749

未処理欠損金 87 億 7,895 万 3,749 円は、その全額を翌年度へ繰り越している。

各年度未処理欠損金（累積欠損金）の推移（再掲）



令和2年度末の未処理欠損金（累積欠損金）の残高は、87 億 7,895 万 3,749 円で、その内訳は、こころの医療センターが 28 億 6,031 万 4,153 円、一志病院が 3 億 864 万 7,645 円、志摩病院が 56 億 999 万 1,951 円となっている。

(6) 財政状態
ア 貸借対照表

(単位：円)

科目	令和2年度 (A)	令和元年度 (B)	比較増減 (A)-(B)	比率 (A)/(B)
固定資産	8,207,576,800	8,519,245,211	△ 311,668,411	96.3%
流動資産	1,574,016,903	1,228,910,662	345,106,241	128.1%
資産合計	9,781,593,703	9,748,155,873	33,437,830	100.3%
固定負債	12,112,083,144	12,717,618,227	△ 605,535,083	95.2%
流動負債	1,267,813,073	1,271,244,992	△ 3,431,919	99.7%
繰延収益	3,497,687,485	3,296,197,268	201,490,217	106.1%
負債合計	16,877,583,702	17,285,060,487	△ 407,476,785	97.6%
資本金	311,409,778	311,409,778	0	100.0%
剰余金	△ 7,407,399,777	△ 7,848,314,392	440,914,615	-
資本合計	△ 7,095,989,999	△ 7,536,904,614	440,914,615	-
負債・資本合計	9,781,593,703	9,748,155,873	33,437,830	100.3%

(ア) 固定資産

決算額は82億757万6,800円で、前年度に比べ3億1,166万8,411円(3.7%)減少している。これは主に、施設・設備の減価償却による。

(イ) 流動資産

決算額は15億7,401万6,903円で、前年度に比べ3億4,510万6,241円(28.1%)増加している。これは主に、現金預金の増による。

(ロ) 固定負債

決算額は121億1,208万3,144円で、前年度に比べ6億553万5,083円(4.8%)減少している。これは主に、建設改良の財源に充てる企業債の償還による。

(ハ) 流動負債

決算額は12億6,781万3,073円で、前年度に比べ343万1,919円(0.3%)減少している。これは主に、医療機器購入に係る未払金の減による。

(ニ) 繰延収益

決算額は34億9,768万7,485円で、前年度に比べ2億149万217円(6.1%)増加している。これは主に、企業債の償還に伴う県費負担金の受入による。

(ホ) 資本金

決算額は3億1,140万9,778円で、前年度と同額である。

(ヘ) 剰余金

決算額は△74億739万9,777円で、前年度に比べ4億4,091万4,615円増加している。これは、純利益が生じたことに伴う利益剰余金の増による。

イ 経営分析

項目		令和2年度	令和元年度	(参考) 令和元年度 全国平均	算式
資産・資本	自己資本構成比率 (%)	△ 36.8	△ 43.5	21.2	$\frac{\text{自己資本}}{\text{総資本}} \times 100$
	固定資産対長期資本比率 (%)	96.4	100.5	93.5	$\frac{\text{固定資産}}{(\text{固定負債} + \text{自己資本})} \times 100$
	流動比率 (%)	124.2	96.7	132.3	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$
回転率	固定資産回転率 (回)	0.32	0.34	0.71	$\frac{\text{医業収益}}{(\text{期首固定資産} + \text{期末固定資産})/2}$
	未収金回転率 (回)	5.83	6.41	5.48	$\frac{\text{医業収益}}{(\text{期首未収金} + \text{期末未収金})/2}$
収益	総資本経常利益率 (%)	4.52	0.22	0.67	$\frac{\text{経常利益}}{(\text{期首総資本} + \text{期末総資本})/2} \times 100$
	経常収支比率 (%)	108.2	100.4	98.6	$\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \times 100$
	職員1人あたり医業収益 (千円)	7,883	9,443	16,925	$\frac{\text{医業収益}}{\text{損益勘定所属職員数}}$

- (注) 1 自己資本＝資本金＋剰余金＋繰延収益
 2 総資本＝負債・資本合計
 3 損益勘定所属職員数＝医業活動に従事する職員数
 4 令和2年度の損益勘定所属職員数については、会計年度任用職員も含まれる。
 5 令和元年度全国平均は、「令和元年度地方公営企業年鑑（総務省自治財政局編）」の都道府県立病院の平均値

(7) 自己資本構成比率

総資本に対する自己資本の割合を示し、割合が高いほど財政基盤が安定していることを表す。全国平均より低い。

(イ) 固定資産対長期資本比率

固定資産が長期の資金で調達されている割合を示し、100%以下であることが望ましく、割合が低いほど財政の健全性が高いことを表す。全国平均より高い。

(ウ) 流動比率

1年以内の短期的な支払能力を示し、100%を上回ることが必要であり、割合が高いほど経営の安全性が高いことを表す。全国平均より低い。

(エ) 固定資産回転率

固定資産がどの程度経営活動に利用されているかを示し、割合が高いほど固定資産が有効に利用されていることを表す。全国平均より低い。

(オ) 未収金回転率

未収金に対する医業収益の割合を示し、一般的に割合が高いほど未収期間が短く、早期に回収されていることを表す。全国平均より高い。

(カ) 総資本経常利益率

総資本（負債・資本合計）の投入によりどれだけ経常利益を上げたかを示し、割合が高いほど総合的な収益性が高いことを表す。全国平均より高い。

(キ) 経常収支比率

経常費用に対する経常収益の割合を示し、割合が高いほど収益性が高いことを表す。全国平均より高い。

(ク) 職員 1 人あたり医業収益

職員 1 人あたりの医業収益を示し、金額が大きいほど効率性が高いことを表す。全国平均より低い。

ウ キャッシュ・フロー計算書

(単位：円)

項 目	令和2年度(A)	令和元年度(B)	比較増減(A)-(B)
業務活動によるキャッシュ・フロー①	654,331,276	302,846,691	351,484,585
投資活動によるキャッシュ・フロー②	226,840,089	90,875,178	135,964,911
財務活動によるキャッシュ・フロー③	△ 547,202,481	△ 415,637,420	△ 131,565,061
資金増減額 (①+②+③)	333,968,884	△ 21,915,551	355,884,435
資金期首残高	762,117,776	784,033,327	△ 21,915,551
資金期末残高	1,096,086,660	762,117,776	333,968,884

業務活動によるキャッシュ・フローは、減価償却費5億8,330万35円などにより、プラス6億5,433万1,276円となり、前年度に比べ3億5,148万4,585円増加している。

投資活動によるキャッシュ・フローは、企業債償還に係る一般会計繰入金の受入4億4,594万5,000円などにより、プラス2億2,684万89円となり、前年度に比べ1億3,596万4,911円増加している。

財務活動によるキャッシュ・フローは、企業債の償還による支出6億8,771万7,291円などにより、マイナス5億4,720万2,481円となり、前年度に比べ1億3,156万5,061円減少している。

この結果、令和2年度の資金期末残高は、資金期首残高に比べ3億3,396万8,884円増加し、10億9,608万6,660円となった。

- (注) 1 業務活動によるキャッシュ・フロー (①)：事業本来の業務活動により、どれだけ資金の増減があったかを表す。
- 2 投資活動によるキャッシュ・フロー (②)：固定資産の取得や企業債の償還に係る一般会計繰入金の受入などにより、どれだけ資金の増減があったかを表す。
- 3 財務活動によるキャッシュ・フロー (③)：企業債の借入・償還などにより、どれだけ資金の増減があったかを表す。
- 4 一般的には①はプラス、②及び③はマイナスとなり、①の額 > (②の額+③の額) の形がキャッシュ・フローが良い循環をしているといわれる(業務活動による収入で投資や借入金返済の資金を賄っている状態)。

第4 病院別の状況

1 こころの医療センター

(1) 病院の概況

こころの医療センターは、「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律」により設置が義務づけられた県立精神科病院として、精神疾患の発生予防から医療、社会復帰までの精神医療ニーズに対応した専門医療を提供している。

特に、精神障がい者の社会復帰を積極的に促進するため、各種作業療法、デイケアを行うとともに、アルコール依存症患者及び認知症患者についても専門的な治療を行い、県の精神医療の基幹病院としての役割を果たしている。

病院機能再編の取組の一環として、平成28年4月に許可病床数を400床から348床に減床しており、稼働病床数は許可病床数と同数である。

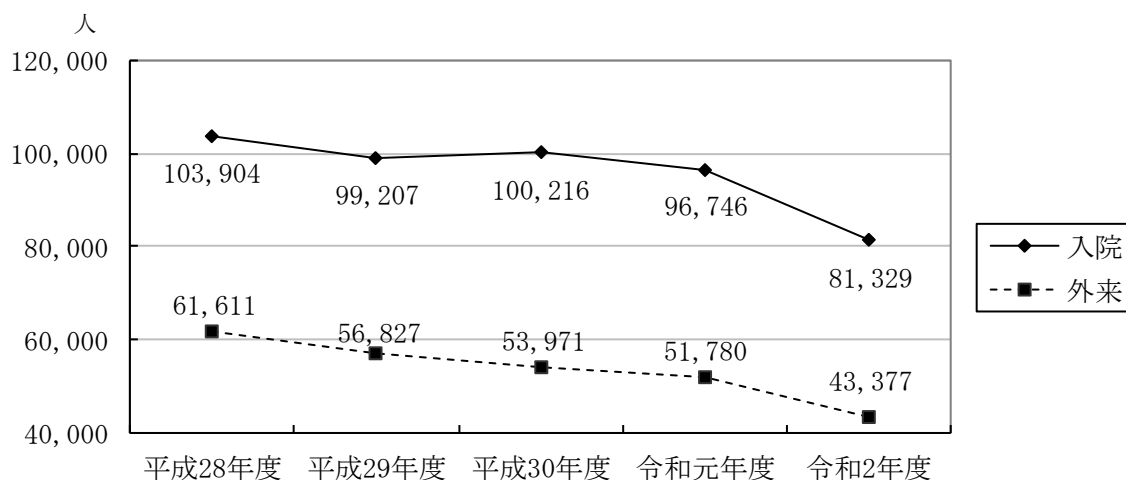
(2) 患者数の状況

令和2年度の延べ入院患者数は81,329人で、前年度に比べ15,417人減少している。病床利用率は64.0%で、前年度に比べ12.0ポイント減少している。

延べ外来患者数は43,377人で、前年度に比べ8,403人減少している。

項目	令和2年度(A)	令和元年度(B)	比較増減(A)-(B)
延べ入院患者数 (人)	81,329	96,746	△ 15,417
1日平均入院患者数 (人)	223	264	△ 41
延べ外来患者数 (人)	43,377	51,780	△ 8,403
1日平均外来患者数 (人)	179	216	△ 37
病床利用率 (%)	64.0	76.0	△ 12.0

患者数の推移



(3) 経営成績

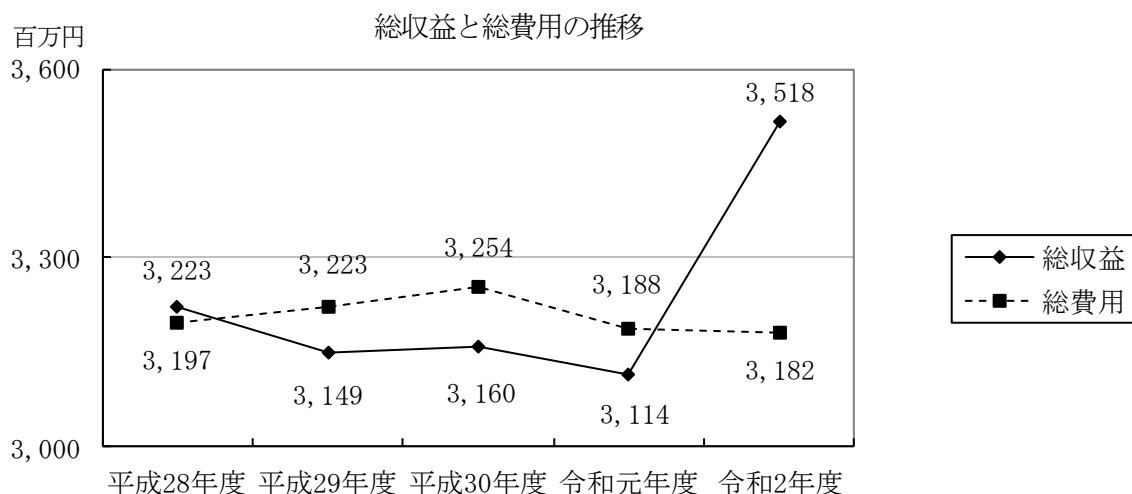
総収益は35億1,761万6,459円で、前年度に比べ4億333万5,095円増加している。これは主に、新型コロナウイルス感染症対策に係る国からの交付金等による一般会計繰入金の増による。

総費用は31億8,191万1,666円で、前年度に比べ588万6,032円減少している。これは主に、給与費の減による。

この結果、純損益は3億3,570万4,793円の黒字となり、前年度に比べ4億922万1,127円改善している。

(単位：円)

科目	令和2年度 (A)	令和元年度 (B)	比較増減 (A)-(B)	比率 (A)/(B)
総収益	3,517,616,459	3,114,281,364	403,335,095	113.0%
医業収益	1,795,231,614	2,076,991,644	△ 281,760,030	86.4%
医業外収益	1,722,384,845	1,037,289,720	685,095,125	166.0%
総費用	3,181,911,666	3,187,797,698	△ 5,886,032	99.8%
医業費用	3,053,793,374	3,062,577,682	△ 8,784,308	99.7%
医業外費用	128,118,292	125,220,016	2,898,276	102.3%
経常損益	335,704,793	△ 73,516,334	409,221,127	-
純損益	335,704,793	△ 73,516,334	409,221,127	-



(4) 経営比較

全国精神科自治体病院との経営比較では、1日平均入院患者数、同外来患者数、経常収支比率及び他会計繰入金対経常収益比率について、全国平均より良い値となっている。

(こころの医療センターは2年度、全国平均は元年度での比較)

項目	令和2年度	令和元年度	令和元年度 全国平均	備考
1日平均入院患者数 (人)	223	264	174	多いほど良い
1日平均外来患者数 (人)	179	216	154	多いほど良い
患者1人1日あたり入院収益 (円)	18,365	17,806	20,220	多いほど良い
患者1人1日あたり外来収益 (円)	6,458	6,330	7,828	多いほど良い
経常収支比率 (%)	110.3	97.8	98.9	高いほど良い
医業収支比率 (%)	62.6	71.3	64.2	高いほど良い
職員給与費対医業収益比率 (%)	109.4	98.0	98.9	低いほど良い
他会計繰入金対経常収益比率 (%)	28.0	31.4	35.0	低いほど良い

(注) 1 本表の数値は、総務省決算統計データに基づき算出している。

※決算統計固有の事項(通常の決算との差異)により、通常の決算額や収支比率と差異が生じる。

①繰入金の一部を医業外収益ではなく医業収益に算入

②県立病院課の収入及び費用を全額2病院(こころの医療センター及び一志病院)に配賦

2 令和元年度全国平均は、「令和元年度地方公営企業年鑑(総務省自治財政局編)」による(精神科病院平均)。

3 経常収支比率=経常収益/経常費用

4 医業収支比率=医業収益/医業費用

5 職員給与費対医業収益比率=職員給与費/医業収益

6 他会計繰入金対経常収益比率=他会計繰入金/経常収益

(5) 中期経営計画における令和2年度の目標及び実績値

中期経営計画における目標達成状況は、次のとおりである。

区分	目標項目	令和元年度 実績	令和2年度 目標	令和2年度 実績	
1 医療機能等の 充実に 向けた 主要な 取組	(1) 精神科救急・急性期医療の提供				
		精神科救急患者受入件数 (件)	186	230	154
	(2) 専門的医療の提供				
	①認知症治療	認知症入院患者数 (人/日)	37.1	40.0	28.7
	②アルコール依存症治療	アルコール依存症入院患者数 (人/日)	35.1	30.0	25.9
	③精神科早期介入・ 早期予防	精神科早期介入対応件数 (件)	160	200	173
	(3) 地域生活を支えるための支援				
	①デイケアサービス	デイケア・ショートケア延べ患者数 (人)	10,972	20,000	8,474
	②訪問看護サービス	訪問看護延べ患者数 (人)	4,784	5,000	4,161
	③入院患者の退院支援	入院後1年以内の患者退院率 (%)	96.1	95.0	93.8
	④関係機関等との連携	障害福祉サービス事業所等との連携取 組件数 (件)	6	8	7
	⑤精神疾患・障がいにか かるとの普及啓発	こころしつとこセミナー開催件数 (件)	48	35	28
	(4) 人材育成の充実				
	①研修医・看護実習生 等の受入れ	研修医・看護実習生等受入延べ人数 (人)	2,292	2,200	1,904
	②職員の育成	人材育成研修回数 (回)	5	5	5
	(5) 業務改善の推進				
	①危機管理対策	危機管理研修等参加率 (%)	94.7	93.0	99.6
	②患者満足度の向上	患者満足度 (%)	83.0	94.3	86.2
	2 経営の 効率化 等 に 向 け た 主 要 な 取 組	(1) 経常収支比率・医業収支比率の向上			
		経常収支比率 (%)	97.7	101.1	110.6
		医業収支比率 (%)	67.8	73.8	58.8
(2) 患者数の確保に向けた取組					
		1日平均入院患者数 (人/日)	264.3	297.0	222.8
		1日平均外来患者数 (人/日)	215.8	280.0	178.5
(3) 医師・看護師の確保					
	医師充足率 (%)	94.9	100.0	84.2	
	看護師充足率 (%)	100.0	100.0	100.0	

2 一志病院

(1) 病院の概況

一志病院は、津市の白山及び美杉地域を中心とした診療圏において、救急医療、高齢者医療を中心とした医療サービスを提供している。地域の過疎化・高齢化に対応するため、訪問診療等の在宅療養支援を進め、健康診断や健康教室の開催など、予防医療の普及啓発にも努めている。

また、平成19年度からは、内科において患者及び地域住民の健康問題を幅広く担当する家庭医療の実践に取り組んでいる。

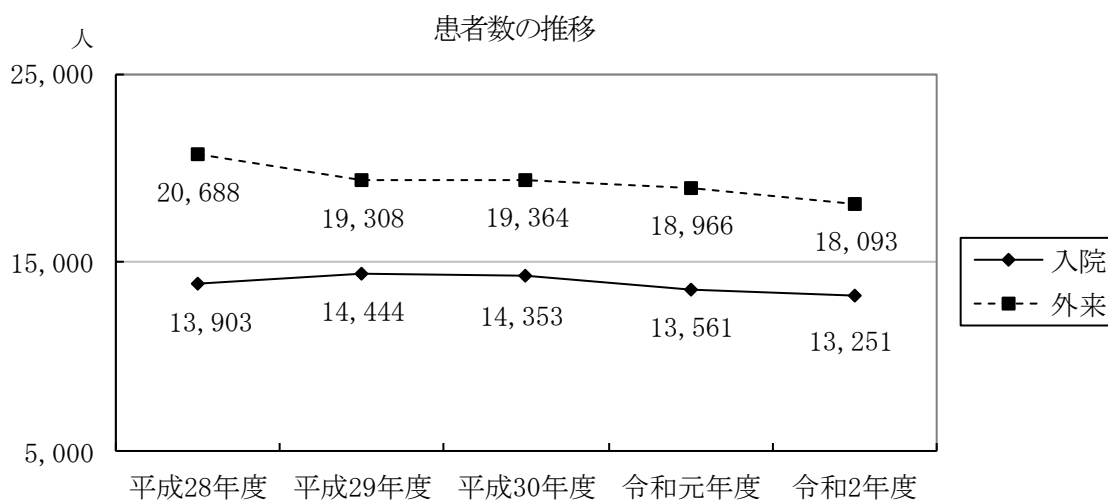
許可病床数は86床であるが、療養病床全40床は休床となっており、稼働病床数は一般病床46床である。

(2) 患者数の状況

令和2年度の延べ入院患者数は13,251人で、前年度に比べ310人減少している。休床を含む許可病床ベースの病床利用率は42.2%で、前年度に比べ0.9ポイント減少している。また、休床を除く稼働病床ベースの病床利用率は78.9%で、前年度に比べ1.6ポイント減少している。

延べ外来患者数は18,093人で、前年度に比べ873人減少している。

項目	令和2年度(A)	令和元年度(B)	比較増減(A)-(B)
延べ入院患者数 (人)	13,251	13,561	△ 310
1日平均入院患者数 (人)	36	37	△ 1
延べ外来患者数 (人)	18,093	18,966	△ 873
1日平均外来患者数 (人)	74	79	△ 5
病床利用率(休床含む) (%)	42.2	43.1	△ 0.9
〃 (休床除く) (%)	78.9	80.5	△ 1.6
平均在院日数 (一般病床のみ) (日)	20.8	18.0	2.8



(3) 経営成績

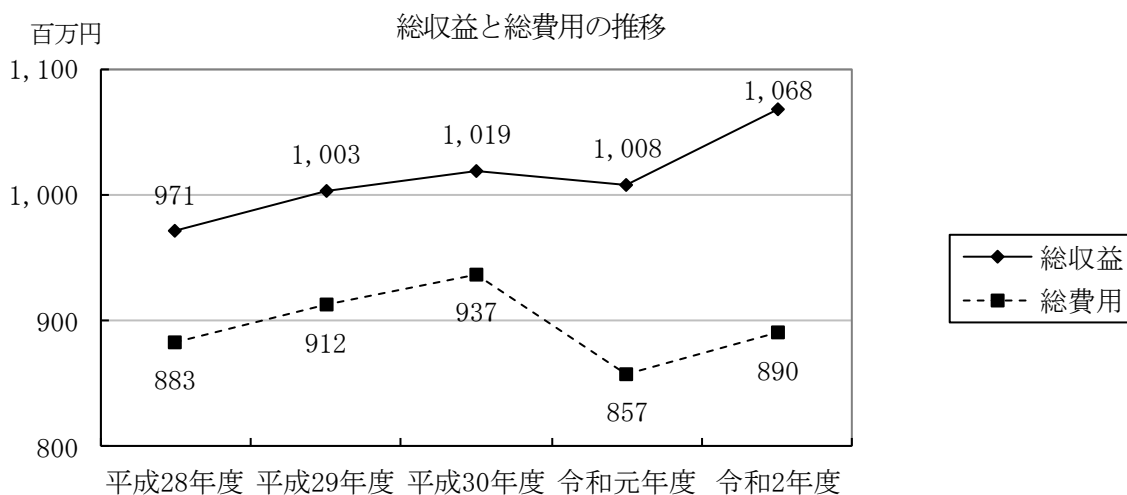
総収益は10億6,790万593円で、前年度に比べ5,991万3,982円増加している。これは主に、新型コロナウイルス感染症対策に係る国からの交付金等による一般会計繰入金の増による。

総費用は8億9,017万8,161円で、前年度に比べ3,285万3,871円増加している。これは主に、非常勤職員の報償費等経費の増による。

この結果、純損益は1億7,772万2,432円の黒字となり、前年度に比べ2,706万111円増加している。

(単位：円)

科目	令和2年度 (A)	令和元年度 (B)	比較増減 (A)-(B)	比率 (A)/(B)
総収益	1,067,900,593	1,007,986,611	59,913,982	105.9%
医業収益	663,079,534	659,492,091	3,587,443	100.5%
医業外収益	404,821,059	348,494,520	56,326,539	116.2%
総費用	890,178,161	857,324,290	32,853,871	103.8%
医業費用	865,324,654	835,378,693	29,945,961	103.6%
医業外費用	24,853,507	21,945,597	2,907,910	113.3%
経常損益	177,722,432	150,662,321	27,060,111	118.0%
純損益	177,722,432	150,662,321	27,060,111	118.0%



(4) 経営比較

同規模の病床を持つ全国自治体病院との経営比較では、患者1人1日あたりの入院収益、同外来収益、経常収支比率及び医業収支比率について、全国平均より良い値となっている。

(一志病院は2年度、全国平均は元年度での比較)

項目	令和2年度	令和元年度	令和元年度全国平均		備考
			50床以上 100床未満	(参考) 50床未満	
1日平均入院患者数 (人)	36	37	48	23	多いほど良い
1日平均外来患者数 (人)	74	79	135	86	多いほど良い
患者1人1日あたり入院収益 (円)	28,465	28,089	24,061	22,328	多いほど良い
患者1人1日あたり外来収益 (円)	9,300	8,366	8,508	7,148	多いほど良い
経常収支比率 (%)	119.5	117.2	97.4	96.4	高いほど良い
医業収支比率 (%)	83.2	84.6	75.6	63.6	高いほど良い
職員給与費対医業収益比率 (%)	74.2	73.7	72.6	81.2	低いほど良い
他会計繰入金対経常収益比率 (%)	32.8	33.8	23.8	33.3	低いほど良い

(注) 1 本表の数値は、総務省決算統計データに基づき算出している。

※決算統計固有の事項(通常の決算との差異)により、通常の決算額や収支比率と差異が生じる。

①繰入金の一部を医業外収益ではなく医業収益に算入

②県立病院課の収入及び費用を全額2病院(こころの医療センター及び一志病院)に配賦

2 一志病院の許可病床数は86床、稼働病床数は46床

3 令和元年度全国平均は、「令和元年度地方公営企業年鑑(総務省自治財政局編)」による(50床以上100床未満(及び50床未満)の病院平均)。

4 経常収支比率=経常収益/経常費用

5 医業収支比率=医業収益/医業費用

6 職員給与費対医業収益比率=職員給与費/医業収益

7 他会計繰入金対経常収益比率=他会計繰入金/経常収益

(5) 中期経営計画における令和2年度の目標及び実績値

中期経営計画における目標達成状況は、次のとおりである。

区分	目標項目	令和元年度 実績	令和2年度 目標	令和2年度 実績	
1 医療機能等の 充実に向けた 主要な取組	(1) 地域医療の推進				
	①在宅療養支援	訪問診療、訪問看護等延べ患者数 (人)	4,571	4,000	4,938
	②予防医療	住民健診、人間ドック、 がん検診受検者数(人)	1,470	1,400	1,361
	③救急医療	救急患者受入件数(件)	1,271	1,000	877
	④医療過疎地域への 支援	医療過疎地域等への支援件数(件)	9	7	4
	⑤関係機関等との連携	多職種連携による取組件数(件)	30	30	13
	(2) 人材育成の充実				
	①総合診療医の育成	初期研修医・医学生受入延べ人数 (人)	460	600	318
	②看護実習生等の 受入れ	看護実習生等受入延べ人数(人)	341	330	48
	③医療従事者の能力向上 への支援	学会、研修、カンファレンス等参加率 (%)	100.0	100.0	100.0
	(3) 地域医療提供体制の確保に資する研究活動の推進				
		学会、論文等発表件数(件)	43	30	10
	(4) プライマリ・ケアセンターへの支援				
		プライマリ・ケア研修会開催件数 (件)	2	3	3
	(5) 業務改善の推進				
	①業務改善活動	夢プロジェクト開催回数(回)	12	12	12
	②危機管理対策	危機管理研修等参加率(%)	100.0	100.0	100.0
③患者満足度の向上	患者満足度(%)	98.0	96.6	99.0	
2 経営の効率化等 に向けた主要な 取組	(1) 経常収支比率・医業収支比率の向上				
		経常収支比率(%)	117.6	103.1	120.0
		医業収支比率(%)	78.9	67.9	76.6
		診療報酬検討会開催回数(回)	12	12	12
	(2) 患者数の確保に向けた取組				
		1日平均入院患者数(人/日)	37.1	38.0	36.3
		1日平均外来患者数(人/日)	79.0	79.0	74.5
	(3) 医師・看護師の確保				
	医師充足率(%)	76.8	100.0	80.1	
	看護師充足率(%)	100.0	100.0	100.0	

3 志摩病院

(1) 病院の概況

志摩病院は、志摩地域の中核病院として、地域住民や観光客に質の高い医療サービスを提供し、二次救急医療や災害医療の中心的な役割と、地域医療支援病院として地域の病院や診療所を支援する役割を担っている。また、県内で数少ない精神病床を併せ持つ病院として、精神身体合併症患者への対応を行っている。

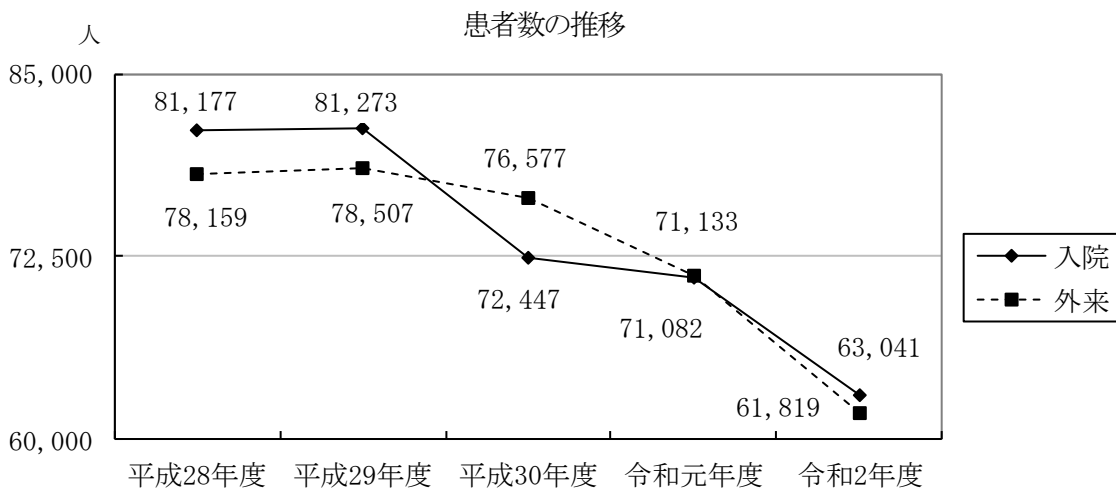
平成24年度から指定管理者により運営されている。許可病床数は、平成29年4月に一般病床を250床から14床削減して236床とし、精神病床100床と合わせて336床となっている。なお、一般病床52床が休床中であり、稼働病床数は284床となっている。

(2) 患者数の状況

令和2年度の延べ入院患者数は63,041人で、前年度に比べ8,041人減少している。休床を含む許可病床ベースの病床利用率は51.4%で、前年度に比べ6.4ポイント減少している。また、休床を除く稼働病床ベースの病床利用率は60.8%で、前年度に比べ7.6ポイント減少している。

延べ外来患者数は61,819人で、前年度に比べ9,314人減少している。

項目	令和2年度(A)	令和元年度(B)	比較増減(A)-(B)
延べ入院患者数 (人)	63,041	71,082	△ 8,041
1日平均入院患者数 (人)	173	194	△ 21
延べ外来患者数 (人)	61,819	71,133	△ 9,314
1日平均外来患者数 (人)	254	296	△ 42
病床利用率(休床含む) (%)	51.4	57.8	△ 6.4
〃 (休床除く) (%)	60.8	68.4	△ 7.6
平均在院日数 (精神除く) (日)	17.3	17.5	△ 0.2



(3) 経営成績

総収益は11億4,839万3,873円で、前年度に比べ8,969万781円増加している。これは主に、指定管理者に交付する交付金に係る一般会計繰入金の増による。

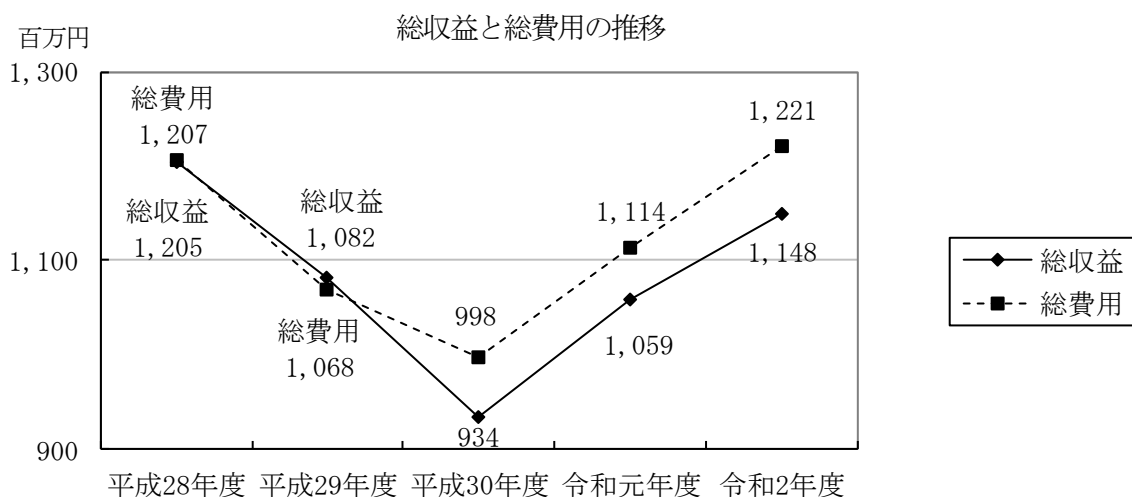
総費用は12億2,090万6,483円で、前年度に比べ1億650万9,962円増加している。これは主に、指定管理者に交付する交付金の増による。

この結果、純損益は7,251万2,610円の赤字となり、前年度に比べ1,681万9,181円悪化している。

(単位：円)

科目	令和2年度 (A)	令和元年度 (B)	比較増減 (A)-(B)	比率 (A)/(B)
総収益	1,148,393,873	1,058,703,092	89,690,781	108.5%
医業収益	7,538,753	10,722,487	△ 3,183,734	70.3%
医業外収益	1,140,855,120	1,047,980,605	92,874,515	108.9%
総費用	1,220,906,483	1,114,396,521	106,509,962	109.6%
医業費用	1,152,639,010	1,044,327,772	108,311,238	110.4%
医業外費用	68,267,473	70,068,749	△ 1,801,276	97.4%
経常損益	△ 72,512,610	△ 55,693,429	△ 16,819,181	-
純損益	△ 72,512,610	△ 55,693,429	△ 16,819,181	-

(注) 平成24年度から指定管理者制度を導入していることから、収益面では入院及び外来収益などが、費用面では病院の直接的な運営経費の給与費や材料費などが含まれていない。



(4) 中期経営計画における令和2年度の目標及び実績値

中期経営計画における目標達成状況は、次のとおりである。

区分	目標項目	令和元年度 実績	令和2年度 目標	令和2年度 実績
1 診療 機能 の 回復 ・ 取 組	(1) 診療機能の回復・充実			
	1日平均入院患者数 (人/日)	194.2	251.0	172.7
	1日平均外来患者数 (人/日)	296.4	350.0	254.4
	1か月平均救急患者数 (人/月)	386.1	615.0	249.5
	経常収支比率 (%)	94.2	100.0	116.8
	利用者満足度 (%)	75.2	85.0	71.0

(注) 平成24年度から指定管理者制度を導入していることから、指定管理業務に係る数値目標として設定している。

【参考】

1 指定管理者による志摩病院運営の収支 (決算額)

(単位：百万円)

	令和2年度	令和元年度	比較増減	主な増減理由
I 事業収益	2,932	3,207	△ 275	
医業収益	2,847	3,122	△ 275	
入院診療収益	2,052	2,261	△ 209	患者数の減 (一般、地域包括、精神)
外来診療収益	795	861	△ 66	患者数の減 (一般、精神)
医業外収益	85	85	0	
II 事業外収益	1,835	604	1,231	国交付金の増
収益計 A	4,767	3,811	956	
III 事業費用	4,072	4,038	34	
うち給与費	2,283	2,224	59	
うち設備関係費	393	386	7	
IV 事業外費用	7	9	△ 2	
費用計 B	4,079	4,047	32	
経常損益 (A-B)	687	△ 236	923	

(注) 1 本表の金額は、消費税及び地方消費税を含む。

2 四捨五入のため、合計等が合わない場合がある。

2 志摩病院における政策的医療交付金、経営基盤強化交付金の推移

(単位：千円)

	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2
政策的医療 交付金 (指定管理料)	450,247	465,881	474,816	481,948	485,780	516,680	524,630	559,296	581,124
経営基盤強化 交付金 (赤字補てん)	541,343	458,628	401,917	220,354	251,856	134,284	69,287	156,489	235,797
うち当年度分 (当初交付額)	541,343	434,851	382,408	184,137	94,859	0	0	0	0
うち前年度分 (追加交付額)	-	23,777	19,509	36,217	156,997	134,284	69,287	156,489	235,797
合 計	991,590	924,509	876,733	702,302	737,636	650,964	593,917	715,785	816,921

(注) 1 経営基盤強化交付金(赤字補てん)は、指定管理者の決算確定後に経常損失額から当初交付額を差し引いた額を翌年度に追加交付しているため、当該年度の当初交付額と翌年度の追加交付額を合計した額が当該年度の赤字補てん額となる。

2 県と指定管理者の基本協定(平成24年度～令和3年度)では、「平成29年度以降において、当該経常損失が生じた場合は、甲(注：県)及び乙(注：指定管理者)が協議するもの」としている。

3 志摩病院における救急患者の受入体制

内科系(令和元年7月以降)

区分	月	火	水	木	金	土	日
昼間(8:30～17:00)	○	○	○	○	○	○	○
準夜間(17:00～22:30)	○	○	○	○	○	○	○※
深夜(22:30～8:30)	○	○	○	○	○	○	○※

※体制によっては、受入れを一部制限(心肺停止患者及び在宅病診連携登録者に限定して対応)

外科系(令和元年10月以降)

区分	月	火	水	木	金	土	日・祝
昼間(8:30～17:00)	○	○	○	○	○	○	○
準夜間(17:00～22:30)	○			○	○		
深夜(22:30～8:30)					○		

小児科系(令和2年12月以降)

区分	月	火	水	木	金	土	日・祝
昼間(8:30～17:00)	○	○	○		○		
準夜間(17:00～22:30)							
深夜(22:30～8:30)							

1歳以上 てんかん発作や熱性けいれん、アナフィラキシーショック等に対応

(注) 基本協定では、「平成26年度以降の24時間365日体制の整備を目標とする。診療時間外の救急外来については、指定管理開始後3年を目指して内科系、外科系それぞれ1名の医師を配置し、診療体制の回復に努める。」としている。

4 常勤医師数の推移

診療科等	県直営	指定管理									
	H24. 3	H24. 4	H25. 4	H26. 4	H27. 4	H28. 4	H29. 4	H30. 4	H31. 4	R2. 4	R3. 4
内科および救急・総合診療科	5	7	11	17	11	14	14	11	10	9	11
外科	3	4	3	3	3	3	3	3	3	3	4
整形外科	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
脳神経外科	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
眼科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1
産婦人科	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0
小児科	0	0	1	1	1	1	1	1	0	0	1
東洋医学・皮膚科	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1
泌尿器科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
精神科	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2
放射線科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
緩和ケア	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小計	20	22	24	30	23	26	26	24	22	22	24
初期研修医	1	2	2	2	3	4	2	2	4	4	6
合計	21	24	26	32	26	30	28	26	26	26	30

(出典) 三重県病院事業庁提供資料

(注) 基本協定では、「小児科及び産婦人科の入院診療体制は、指定管理運営開始から3年後を目標に常勤医師の確保に努める。」「政策的医療をより充実させるため、常勤医師41名体制を目標とし、さらなる医師確保に努める。」としている。

【参考】

県立病院課の中期経営計画における令和2年度の目標及び実績値

区分	目標項目	令和元年度 実績	令和2年度 目標	令和2年度 実績
1 各 県 立 病 院 に 対 す る 支 援	(1) 経常収支等の向上に向けた支援			
	経常収支比率 (%) ※こころの医療センター、一志病院、県立病院課 を合計した値	101.9	101.5	112.3
	医業収支比率 (%) ※同上	68.4	70.8	61.2
	(2) 医師・看護師の確保			
	医師充足率 (%) ※こころの医療センターと一志病院を合計した値	89.3	100.0	82.9
	看護師充足率 (%) ※同上	100.0	100.0	100.0
	(3) 患者満足度の向上			
	患者満足度 (%) ※同上	90.8	95.0	92.4

第5 決算諸表

1 損益計算書

比較損益計算書（病院事業計）

（単位：円）

科 目	令和2年度	令和元年度	比較増減	対前年度 比 率
医業収益	2,465,849,901	2,747,206,222	△ 281,356,321	89.8%
入院収益	1,870,838,082	2,103,562,301	△ 232,724,219	88.9%
外来収益	448,394,436	486,464,279	△ 38,069,843	92.2%
その他医業収益	146,617,383	157,179,642	△ 10,562,259	93.3%
医業費用	5,170,491,701	5,044,550,333	125,941,368	102.5%
給与費	2,709,160,789	2,748,618,298	△ 39,457,509	98.6%
材料費	261,664,659	261,873,716	△ 209,057	99.9%
経 費	1,605,447,009	1,448,472,262	156,974,747	110.8%
減価償却費	583,300,035	568,679,325	14,620,710	102.6%
資産減耗費	6,511,113	7,164,096	△ 652,983	90.9%
研究研修費	4,408,096	9,742,636	△ 5,334,540	45.2%
医業損益	△ 2,704,641,800	△ 2,297,344,111	△ 407,297,689	-
医業外収益	3,367,492,207	2,536,669,593	830,822,614	132.8%
受取利息配当金	85,146	130,199	△ 45,053	65.4%
他会計補助金	137,379,000	141,890,000	△ 4,511,000	96.8%
長期前受金戻入 補助金	247,131,593	240,660,731	6,470,862	102.7%
負担金・交付金	51,020,190	5,017,000	46,003,190	1016.9%
その他医業外収益	2,721,254,000	1,952,575,000	768,679,000	139.4%
その他医業外収益	210,622,278	196,396,663	14,225,615	107.2%
医業外費用	221,935,792	217,872,924	4,062,868	101.9%
支払利息及び企業債取扱諸費	95,072,734	103,127,387	△ 8,054,653	92.2%
患者外給食材料費	135,321	239,983	△ 104,662	56.4%
長期前払消費税償却	24,421,351	26,415,556	△ 1,994,205	92.5%
雑損失	102,306,386	88,089,998	14,216,388	116.1%
経常損益	440,914,615	21,452,558	419,462,057	2,055.3%
当年度純損益	440,914,615	21,452,558	419,462,057	2,055.3%
前年度繰越利益剰余金 （△は前年度繰越欠損金）	△ 9,219,868,364	△ 9,241,320,922	21,452,558	-
当年度未処分利益剰余金 （△は当年度未処理欠損金）	△ 8,778,953,749	△ 9,219,868,364	440,914,615	-

（注）1 本表の金額は、消費税及び地方消費税を含まない。

2 志摩病院分については、平成24年度から指定管理者制度を導入していることから、収益面では入院及び外来収益などが、費用面では病院の直接的な運営経費の給与費や材料費などが含まれていない。

比較損益計算書（こころの医療センター）（単位：円）

科 目	令和2年度	令和元年度	比較増減	対前年度 比 率
医業収益	1,795,231,614	2,076,991,644	△ 281,760,030	86.4%
入院収益	1,493,644,594	1,722,648,886	△ 229,004,292	86.7%
外来収益	280,127,310	327,787,386	△ 47,660,076	85.5%
その他医業収益	21,459,710	26,555,372	△ 5,095,662	80.8%
医業費用	3,053,793,374	3,062,577,682	△ 8,784,308	99.7%
給与費	2,085,806,021	2,134,839,112	△ 49,033,091	97.7%
材料費	200,608,052	202,979,383	△ 2,371,331	98.8%
経 費	567,492,857	526,154,644	41,338,213	107.9%
減価償却費	194,760,055	190,020,368	4,739,687	102.5%
資産減耗費	1,367,810	1,533,709	△ 165,899	89.2%
研究研修費	3,758,579	7,050,466	△ 3,291,887	53.3%
医業損益	△ 1,258,561,760	△ 985,586,038	△ 272,975,722	-
医業外収益	1,722,384,845	1,037,289,720	685,095,125	166.0%
受取利息配当金	0	0	0	-
他会計補助金	90,943,000	95,260,000	△ 4,317,000	95.5%
長期前受金戻入	92,725,924	91,981,402	744,522	100.8%
補助金	23,587,190	1,810,000	21,777,190	1303.2%
負担金・交付金	1,479,223,000	827,933,000	651,290,000	178.7%
その他医業外収益	35,905,731	20,305,318	15,600,413	176.8%
医業外費用	128,118,292	125,220,016	2,898,276	102.3%
支払利息及び企業債取扱諸費	47,753,582	52,813,114	△ 5,059,532	90.4%
患者外給食材料費	0	0	0	-
長期前払消費税償却	4,347,796	6,948,564	△ 2,600,768	62.6%
雑損失	76,016,914	65,458,338	10,558,576	116.1%
経常損益	335,704,793	△ 73,516,334	409,221,127	-
当年度純損益	335,704,793	△ 73,516,334	409,221,127	-
前年度繰越利益剰余金 （△は前年度繰越欠損金）	△ 3,196,018,946	△ 3,122,502,612	△ 73,516,334	-
当年度未処分利益剰余金 （△は当年度未処理欠損金）	△ 2,860,314,153	△ 3,196,018,946	335,704,793	-

（注）本表の金額は、消費税及び地方消費税を含まない。

比較損益計算書（一志病院）

（単位：円）

科 目	令和2年度	令和元年度	比較増減	対前年度 比 率
医業収益	663,079,534	659,492,091	3,587,443	100.5%
入院収益	377,193,488	380,913,415	△ 3,719,927	99.0%
外来収益	168,267,126	158,676,893	9,590,233	106.0%
その他医業収益	117,618,920	119,901,783	△ 2,282,863	98.1%
医業費用	865,324,654	835,378,693	29,945,961	103.6%
給与費	529,254,500	517,192,564	12,061,936	102.3%
材料費	61,056,607	58,894,333	2,162,274	103.7%
経 費	207,427,458	188,499,522	18,927,936	110.0%
減価償却費	65,154,017	65,940,831	△ 786,814	98.8%
資産減耗費	1,782,555	2,504,916	△ 722,361	71.2%
研究研修費	649,517	2,346,527	△ 1,697,010	27.7%
医業損益	△ 202,245,120	△ 175,886,602	△ 26,358,518	-
医業外収益	404,821,059	348,494,520	56,326,539	116.2%
受取利息配当金	0	0	0	-
他会計補助金	20,768,000	21,487,000	△ 719,000	96.7%
長期前受金戻入	18,948,102	18,884,418	63,684	100.3%
補助金	23,931,000	0	23,931,000	皆増
負担金・交付金	328,509,000	305,516,000	22,993,000	107.5%
その他医業外収益	12,664,957	2,607,102	10,057,855	485.8%
医業外費用	24,853,507	21,945,597	2,907,910	113.3%
支払利息及び企業債取扱諸費	747,939	808,216	△ 60,277	92.5%
患者外給食材料費	135,321	239,983	△ 104,662	56.4%
長期前払消費税償却	3,071,631	2,833,075	238,556	108.4%
雑損失	20,898,616	18,064,323	2,834,293	115.7%
経常損益	177,722,432	150,662,321	27,060,111	118.0%
当年度純損益	177,722,432	150,662,321	27,060,111	118.0%
前年度繰越利益剰余金 （△は前年度繰越欠損金）	△ 486,370,077	△ 637,032,398	150,662,321	-
当年度未処分利益剰余金 （△は当年度未処理欠損金）	△ 308,647,645	△ 486,370,077	177,722,432	-

（注）本表の金額は、消費税及び地方消費税を含まない。

比較損益計算書（志摩病院）

（単位：円）

科 目	令和2年度	令和元年度	比較増減	対前年度 比 率
医業収益	7,538,753	10,722,487	△ 3,183,734	70.3%
入院収益	0	0	0	-
外来収益	0	0	0	-
その他医業収益	7,538,753	10,722,487	△ 3,183,734	70.3%
医業費用	1,152,639,010	1,044,327,772	108,311,238	110.4%
給与費	0	0	0	-
材料費	0	0	0	-
経 費	827,085,137	730,653,434	96,431,703	113.2%
減価償却費	322,193,125	312,000,038	10,193,087	103.3%
資産減耗費	3,360,748	1,674,300	1,686,448	200.7%
研究研修費	0	0	0	-
医業損益	△ 1,145,100,257	△ 1,033,605,285	△ 111,494,972	-
医業外収益	1,140,855,120	1,047,980,605	92,874,515	108.9%
受取利息配当金	0	0	0	-
他会計補助金	0	0	0	-
長期前受金戻入 補助金	135,149,233 3,502,000	129,178,087 3,207,000	5,971,146 295,000	104.6% 109.2%
負担金・交付金	840,196,000	742,729,000	97,467,000	113.1%
その他医業外収益	162,007,887	172,866,518	△ 10,858,631	93.7%
医業外費用	68,267,473	70,068,749	△ 1,801,276	97.4%
支払利息及び企業債取扱諸費	46,548,542	49,474,963	△ 2,926,421	94.1%
患者外給食材料費	0	0	0	-
長期前払消費税償却	16,854,100	16,493,732	360,368	102.2%
雑損失	4,864,831	4,100,054	764,777	118.7%
経常損益	△ 72,512,610	△ 55,693,429	△ 16,819,181	-
当年度純損益	△ 72,512,610	△ 55,693,429	△ 16,819,181	-
前年度繰越利益剰余金 （△は前年度繰越欠損金）	△ 5,537,479,341	△ 5,481,785,912	△ 55,693,429	-
当年度未処分利益剰余金 （△は当年度未処理欠損金）	△ 5,609,991,951	△ 5,537,479,341	△ 72,512,610	-

（注）1 本表の金額は、消費税及び地方消費税を含まない。

2 平成24年度から指定管理者制度を導入していることから、収益面では入院及び外来収益などが、費用面では病院の直接的な運営経費の給与費や材料費などが含まれていない。

比較損益計算書（県立病院課）

（単位：円）

科 目	令和2年度	令和元年度	比較増減	対前年度 比 率
医業収益	0	0	0	-
入院収益	0	0	0	-
外来収益	0	0	0	-
その他医業収益	0	0	0	-
医業費用	98,734,663	102,266,186	△ 3,531,523	96.5%
給与費	94,100,268	96,586,622	△ 2,486,354	97.4%
材料費	0	0	0	-
経 費	3,441,557	3,164,662	276,895	108.7%
減価償却費	1,192,838	718,088	474,750	166.1%
資産減耗費	0	1,451,171	△ 1,451,171	皆減
研究研修費	0	345,643	△ 345,643	皆減
医業損益	△ 98,734,663	△ 102,266,186	3,531,523	-
医業外収益	99,431,183	102,904,748	△ 3,473,565	96.6%
受取利息配当金	85,146	130,199	△ 45,053	65.4%
他会計補助金	25,668,000	25,143,000	525,000	102.1%
長期前受金戻入 補助金	308,334 0	616,824 0	△ 308,490 0	50.0% -
負担金・交付金	73,326,000	76,397,000	△ 3,071,000	96.0%
その他医業外収益	43,703	617,725	△ 574,022	7.1%
医業外費用	696,520	638,562	57,958	109.1%
支払利息及び企業債取扱諸費	22,671	31,094	△ 8,423	72.9%
患者外給食材料費	0	0	0	-
長期前払消費税償却	147,824	140,185	7,639	105.4%
雑損失	526,025	467,283	58,742	112.6%
経常損益	0	0	0	-
当年度純損益	0	0	0	-
前年度繰越利益剰余金 （△は前年度繰越欠損金）	0	0	0	-
当年度未処分利益剰余金 （△は当年度未処理欠損金）	0	0	0	-

（注）本表の金額は、消費税及び地方消費税を含まない。

2 貸借対照表

比較貸借対照表（病院事業計）

（単位：円）

科 目	令和2年度		令和元年度		比較増減	対前年度 比 率
	金 額	構成 比率	金 額	構成 比率		
固定資産	8,207,576,800	83.9%	8,519,245,211	87.4%	△ 311,668,411	96.3%
有形固定資産	7,934,401,541	81.1%	8,248,035,515	84.6%	△ 313,633,974	96.2%
土地	490,665,273	5.0%	490,665,273	5.0%	0	100.0%
建物	6,289,984,416	64.3%	6,588,509,849	67.6%	△ 298,525,433	95.5%
構築物	309,790,582	3.2%	335,449,810	3.4%	△ 25,659,228	92.4%
器械備品	825,900,970	8.4%	816,816,340	8.4%	9,084,630	101.1%
車両	6,788,785	0.1%	7,598,709	0.1%	△ 809,924	89.3%
建設仮勘定	11,271,515	0.1%	8,995,534	0.1%	2,275,981	125.3%
無形固定資産	2,298,889	0.0%	2,301,395	0.0%	△ 2,506	99.9%
電話加入権	2,298,889	0.0%	2,298,889	0.0%	0	100.0%
その他無形 固定資産	0	0.0%	2,506	0.0%	△ 2,506	皆減
投資その他の資産	270,876,370	2.8%	268,908,301	2.8%	1,968,069	100.7%
長期貸付金	2,400,000	0.0%	1,800,000	0.0%	600,000	133.3%
長期前払消費税	268,306,370	2.7%	266,938,301	2.7%	1,368,069	100.5%
その他投資	170,000	0.0%	170,000	0.0%	0	100.0%
流動資産	1,574,016,903	16.1%	1,228,910,662	12.6%	345,106,241	128.1%
現金預金	1,096,086,660	11.2%	762,117,776	7.8%	333,968,884	143.8%
未収金	467,426,090	4.8%	456,807,111	4.7%	10,618,979	102.3%
貯蔵品	6,979,325	0.1%	6,703,303	0.1%	276,022	104.1%
前払費用	200,000	0.0%	200,000	0.0%	0	100.0%
前払金	324,828	0.0%	82,472	0.0%	242,356	393.9%
その他流動資産	3,000,000	0.0%	3,000,000	0.0%	0	100.0%
資産合計	9,781,593,703	100.0%	9,748,155,873	100.0%	33,437,830	100.3%
固定負債	12,112,083,144	123.8%	12,717,618,227	130.5%	△ 605,535,083	95.2%
企業債	5,667,029,509	57.9%	6,139,841,528	63.0%	△ 472,812,019	92.3%
他会計借入金	5,240,592,278	53.6%	5,330,592,278	54.7%	△ 90,000,000	98.3%
引当金	1,204,461,357	12.3%	1,247,184,421	12.8%	△ 42,723,064	96.6%
流動負債	1,267,813,073	13.0%	1,271,244,992	13.0%	△ 3,431,919	99.7%
企業債	702,912,019	7.2%	687,717,291	7.1%	15,194,728	102.2%
引当金	183,105,000	1.9%	177,869,000	1.8%	5,236,000	102.9%
未払金	366,940,770	3.8%	392,066,608	4.0%	△ 25,125,838	93.6%
未払消費税及び 地方消費税	7,198,900	0.1%	5,024,300	0.1%	2,174,600	143.3%
その他流動負債	7,656,384	0.1%	8,567,793	0.1%	△ 911,409	89.4%
繰延収益	3,497,687,485	35.8%	3,296,197,268	33.8%	201,490,217	106.1%
長期前受金	3,497,687,485	35.8%	3,296,197,268	33.8%	201,490,217	106.1%
負債合計	16,877,583,702	172.5%	17,285,060,487	177.3%	△ 407,476,785	97.6%
資本金	311,409,778	3.2%	311,409,778	3.2%	0	100.0%
剰余金	△ 7,407,399,777	△75.7%	△ 7,848,314,392	△80.5%	440,914,615	-
資本剰余金	1,371,553,972	14.0%	1,371,553,972	14.1%	0	100.0%
利益剰余金 （△は欠損金）	△ 8,778,953,749	△89.7%	△ 9,219,868,364	△94.6%	440,914,615	-
資本合計	△ 7,095,989,999	△72.5%	△ 7,536,904,614	△77.3%	440,914,615	-
負債・資本合計	9,781,593,703	100.0%	9,748,155,873	100.0%	33,437,830	100.3%

（注）構成比率については、四捨五入の関係から合計が合わない場合がある。

比較貸借対照表（こころの医療センター）

（単位：円）

科 目	令和2年度		令和元年度		比較増減	対前年度 比 率
	金 額	構成 比率	金 額	構成 比率		
固定資産	3,772,811,579	78.1%	3,881,399,259	82.3%	△ 108,587,680	97.2%
有形固定資産	3,708,643,928	76.8%	3,820,725,753	81.0%	△ 112,081,825	97.1%
土地	298,015,082	6.2%	298,015,082	6.3%	0	100.0%
建物	3,107,953,649	64.3%	3,246,087,954	68.8%	△ 138,134,305	95.7%
構築物	84,059,709	1.7%	91,723,691	1.9%	△ 7,663,982	91.6%
器械備品	209,879,376	4.3%	176,499,507	3.7%	33,379,869	118.9%
車両	5,190,475	0.1%	6,613,155	0.1%	△ 1,422,680	78.5%
建設仮勘定	3,545,637	0.1%	1,786,364	0.0%	1,759,273	198.5%
無形固定資産	443,700	0.0%	446,206	0.0%	△ 2,506	99.4%
電話加入権	443,700	0.0%	443,700	0.0%	0	100.0%
その他無形 固定資産	0	0.0%	2,506	0.0%	△ 2,506	皆減
投資その他の資産	63,723,951	1.3%	60,227,300	1.3%	3,496,651	105.8%
長期貸付金	0	0.0%	0	0.0%	0	-
長期前払消費税	63,553,951	1.3%	60,057,300	1.3%	3,496,651	105.8%
その他投資	170,000	0.0%	170,000	0.0%	0	100.0%
流動資産	1,057,073,670	21.9%	833,795,361	17.7%	223,278,309	126.8%
現金預金	740,015,862	15.3%	480,478,607	10.2%	259,537,255	154.0%
未収金	312,154,447	6.5%	349,548,217	7.4%	△ 37,393,770	89.3%
貯蔵品	4,378,533	0.1%	3,568,537	0.1%	809,996	122.7%
前払費用	200,000	0.0%	200,000	0.0%	0	100.0%
前払金	324,828	0.0%	0	0.0%	324,828	皆増
その他流動資産	0	0.0%	0	0.0%	0	-
資産合計	4,829,885,249	100.0%	4,715,194,620	100.0%	114,690,629	102.4%
固定負債	4,953,088,434	102.6%	5,379,942,879	114.1%	△ 426,854,445	92.1%
企業債	2,832,285,076	58.6%	3,173,513,200	67.3%	△ 341,228,124	89.2%
他会計借入金	1,190,553,818	24.6%	1,235,553,818	26.2%	△ 45,000,000	96.4%
引当金	930,249,540	19.3%	970,875,861	20.6%	△ 40,626,321	95.8%
流動負債	769,651,099	15.9%	735,445,704	15.6%	34,205,395	104.7%
企業債	389,928,124	8.1%	373,959,057	7.9%	15,969,067	104.3%
引当金	139,528,000	2.9%	133,464,000	2.8%	6,064,000	104.5%
未払金	235,767,627	4.9%	223,740,707	4.7%	12,026,920	105.4%
未払消費税及び 地方消費税	1,455,207	0.0%	656,407	0.0%	798,800	221.7%
その他流動負債	2,972,141	0.1%	3,625,533	0.1%	△ 653,392	82.0%
繰延収益	1,777,286,339	36.8%	1,605,651,453	34.1%	171,634,886	110.7%
長期前受金	1,777,286,339	36.8%	1,605,651,453	34.1%	171,634,886	110.7%
負債合計	7,500,025,872	155.3%	7,721,040,036	163.7%	△ 221,014,164	97.1%
資本金	188,628,538	3.9%	188,628,538	4.0%	0	100.0%
剰余金	△ 2,858,769,161	△59.2%	△ 3,194,473,954	△67.7%	335,704,793	-
資本剰余金	1,544,992	0.0%	1,544,992	0.0%	0	100.0%
利益剰余金 (△は欠損金)	△ 2,860,314,153	△59.2%	△ 3,196,018,946	△67.8%	335,704,793	-
資本合計	△ 2,670,140,623	△55.3%	△ 3,005,845,416	△63.7%	335,704,793	-
負債・資本合計	4,829,885,249	100.0%	4,715,194,620	100.0%	114,690,629	102.4%

（注）構成比率については、四捨五入の関係から合計が合わない場合がある。

比較貸借対照表（一志病院）

（単位：円）

科 目	令和2年度		令和元年度		比較増減	対前年度 比 率
	金 額	構成 比率	金 額	構成 比率		
固定資産	742,696,779	48.3%	770,175,743	53.8%	△ 27,478,964	96.4%
有形固定資産	705,890,976	45.9%	733,917,148	51.3%	△ 28,026,172	96.2%
土地	39,881,445	2.6%	39,881,445	2.8%	0	100.0%
建物	521,036,219	33.9%	540,137,252	37.7%	△ 19,101,033	96.5%
構築物	38,004,736	2.5%	40,619,890	2.8%	△ 2,615,154	93.6%
器械備品	105,537,989	6.9%	112,460,730	7.9%	△ 6,922,741	93.8%
車両	1,430,587	0.1%	817,831	0.1%	612,756	174.9%
建設仮勘定	0	0.0%	0	0.0%	0	-
無形固定資産	420,200	0.0%	420,200	0.0%	0	100.0%
電話加入権	420,200	0.0%	420,200	0.0%	0	100.0%
その他無形 固定資産	0	0.0%	0	0.0%	0	-
投資その他の資産	36,385,603	2.4%	35,838,395	2.5%	547,208	101.5%
長期貸付金	0	0.0%	0	0.0%	0	-
長期前払消費税	36,385,603	2.4%	35,838,395	2.5%	547,208	101.5%
その他投資	0	0.0%	0	0.0%	0	-
流動資産	795,090,924	51.7%	661,134,375	46.2%	133,956,549	120.3%
現金預金	640,349,082	41.6%	551,846,065	38.6%	88,503,017	116.0%
未収金	152,141,050	9.9%	106,071,072	7.4%	46,069,978	143.4%
貯蔵品	2,600,792	0.2%	3,134,766	0.2%	△ 533,974	83.0%
前払費用	0	0.0%	0	0.0%	0	-
前払金	0	0.0%	82,472	0.0%	△ 82,472	皆減
その他流動資産	0	0.0%	0	0.0%	0	-
資産合計	1,537,787,703	100.0%	1,431,310,118	100.0%	106,477,585	107.4%
固定負債	1,470,660,706	95.6%	1,542,080,423	107.7%	△ 71,419,717	95.4%
企業債	276,124,525	18.0%	301,196,781	21.0%	△ 25,072,256	91.7%
他会計借入金	928,646,242	60.4%	973,646,242	68.0%	△ 45,000,000	95.4%
引当金	265,889,939	17.3%	267,237,400	18.7%	△ 1,347,461	99.5%
流動負債	140,229,035	9.1%	163,249,063	11.4%	△ 23,020,028	85.9%
企業債	41,872,256	2.7%	36,652,351	2.6%	5,219,905	114.2%
引当金	31,612,000	2.1%	32,745,000	2.3%	△ 1,133,000	96.5%
未払金	61,151,343	4.0%	88,774,717	6.2%	△ 27,623,374	68.9%
未払消費税及び 地方消費税	4,000,839	0.3%	3,142,281	0.2%	858,558	127.3%
その他流動負債	1,592,597	0.1%	1,934,714	0.1%	△ 342,117	82.3%
繰延収益	188,169,186	12.2%	164,974,288	11.5%	23,194,898	114.1%
長期前受金	188,169,186	12.2%	164,974,288	11.5%	23,194,898	114.1%
負債合計	1,799,058,927	117.0%	1,870,303,774	130.7%	△ 71,244,847	96.2%
資本金	36,867,441	2.4%	36,867,441	2.6%	0	100.0%
剰余金	△ 298,138,665	△19.4%	△ 475,861,097	△33.2%	177,722,432	-
資本剰余金	10,508,980	0.7%	10,508,980	0.7%	0	100.0%
利益剰余金 （△は欠損金）	△ 308,647,645	△20.1%	△ 486,370,077	△34.0%	177,722,432	-
資本合計	△ 261,271,224	△17.0%	△ 438,993,656	△30.7%	177,722,432	-
負債・資本合計	1,537,787,703	100.0%	1,431,310,118	100.0%	106,477,585	107.4%

（注）構成比率については、四捨五入の関係から合計が合わない場合がある。

比較貸借対照表（志摩病院）

（単位：円）

科 目	令和2年度		令和元年度		比較増減	対前年度 比 率
	金 額	構成 比率	金 額	構成 比率		
固定資産	3,681,134,959	108.9%	3,859,210,953	108.1%	△ 178,075,994	95.4%
有形固定資産	3,512,914,911	103.9%	3,688,188,050	103.3%	△ 175,273,139	95.2%
土地	152,768,746	4.5%	152,768,746	4.3%	0	100.0%
建物	2,660,994,548	78.7%	2,802,284,643	78.5%	△ 141,290,095	95.0%
構築物	187,726,137	5.6%	203,106,229	5.7%	△ 15,380,092	92.4%
器械備品	503,531,879	14.9%	522,651,539	14.6%	△ 19,119,660	96.3%
車両	167,723	0.0%	167,723	0.0%	0	100.0%
建設仮勘定	7,725,878	0.2%	7,209,170	0.2%	516,708	107.2%
無形固定資産	1,434,989	0.0%	1,434,989	0.0%	0	100.0%
電話加入権	1,434,989	0.0%	1,434,989	0.0%	0	100.0%
その他無形 固定資産	0	0.0%	0	0.0%	0	-
投資その他の資産	166,785,059	4.9%	169,587,914	4.8%	△ 2,802,855	98.3%
長期貸付金	0	0.0%	0	0.0%	0	-
長期前払消費税	166,785,059	4.9%	169,587,914	4.8%	△ 2,802,855	98.3%
その他投資	0	0.0%	0	0.0%	0	-
流動資産	△ 301,393,908	△8.9%	△ 289,271,427	△8.1%	△ 12,122,481	104.2%
現金預金	△ 302,674,353	△9.0%	△ 290,459,249	△8.1%	△ 12,215,104	104.2%
未収金	1,280,445	0.0%	1,187,822	0.0%	92,623	107.8%
貯蔵品	0	0.0%	0	0.0%	0	-
前払費用	0	0.0%	0	0.0%	0	-
前払金	0	0.0%	0	0.0%	0	-
その他流動資産	0	0.0%	0	0.0%	0	-
資産合計	3,379,741,051	100.0%	3,569,939,526	100.0%	△ 190,198,475	94.7%
固定負債	5,677,341,909	168.0%	5,782,928,548	162.0%	△ 105,586,639	98.2%
企業債	2,556,769,908	75.6%	2,662,356,547	74.6%	△ 105,586,639	96.0%
他会計借入金	3,120,572,001	92.3%	3,120,572,001	87.4%	0	100.0%
引当金	0	0.0%	0	0.0%	0	-
流動負債	338,161,666	10.0%	353,532,659	9.9%	△ 15,370,993	95.7%
企業債	270,186,639	8.0%	276,180,883	7.7%	△ 5,994,244	97.8%
引当金	0	0.0%	0	0.0%	0	-
未払金	66,269,365	2.0%	76,156,166	2.1%	△ 9,886,801	87.0%
未払消費税及び 地方消費税	1,705,662	0.1%	1,195,610	0.0%	510,052	142.7%
その他流動負債	0	0.0%	0	0.0%	0	-
繰延収益	1,528,815,628	45.2%	1,525,543,861	42.7%	3,271,767	100.2%
長期前受金	1,528,815,628	45.2%	1,525,543,861	42.7%	3,271,767	100.2%
負債合計	7,544,319,203	223.2%	7,662,005,068	214.6%	△ 117,685,865	98.5%
資本金	85,913,799	2.5%	85,913,799	2.4%	0	100.0%
剰余金	△ 4,250,491,951	△125.8%	△ 4,177,979,341	△117.0%	△ 72,512,610	-
資本剰余金	1,359,500,000	40.2%	1,359,500,000	38.1%	0	100.0%
利益剰余金 （△は欠損金）	△ 5,609,991,951	△166.0%	△ 5,537,479,341	△155.1%	△ 72,512,610	-
資本合計	△ 4,164,578,152	△123.2%	△ 4,092,065,542	△114.6%	△ 72,512,610	-
負債・資本合計	3,379,741,051	100.0%	3,569,939,526	100.0%	△ 190,198,475	94.7%

（注）構成比率については、四捨五入の関係から合計が合わない場合がある。

比較貸借対照表（県立病院課）

（単位：円）

科 目	令和2年度		令和元年度		比較増減	対前年度 比 率
	金 額	構成 比率	金 額	構成 比率		
固定資産	10,933,483	32.0%	8,459,256	26.7%	2,474,227	129.2%
有形固定資産	6,951,726	20.3%	5,204,564	16.4%	1,747,162	133.6%
土地	0	0.0%	0	0.0%	0	-
建物	0	0.0%	0	0.0%	0	-
構築物	0	0.0%	0	0.0%	0	-
器械備品	6,951,726	20.3%	5,204,564	16.4%	1,747,162	133.6%
車両	0	0.0%	0	0.0%	0	-
建設仮勘定	0	0.0%	0	0.0%	0	-
無形固定資産	0	0.0%	0	0.0%	0	-
電話加入権	0	0.0%	0	0.0%	0	-
その他無形 固定資産	0	0.0%	0	0.0%	0	-
投資その他の資産	3,981,757	11.6%	3,254,692	10.3%	727,065	122.3%
長期貸付金	2,400,000	7.0%	1,800,000	5.7%	600,000	133.3%
長期前払消費税	1,581,757	4.6%	1,454,692	4.6%	127,065	108.7%
その他投資	0	0.0%	0	0.0%	0	-
流動資産	23,246,217	68.0%	23,252,353	73.3%	△ 6,136	100.0%
現金預金	18,396,069	53.8%	20,252,353	63.9%	△ 1,856,284	90.8%
未収金	1,850,148	5.4%	0	0.0%	1,850,148	皆増
貯蔵品	0	0.0%	0	0.0%	0	-
前払費用	0	0.0%	0	0.0%	0	-
前払金	0	0.0%	0	0.0%	0	-
その他流動資産	3,000,000	8.8%	3,000,000	9.5%	0	100.0%
資産合計	34,179,700	100.0%	31,711,609	100.0%	2,468,091	107.8%
固定負債	10,992,095	32.2%	12,666,377	39.9%	△ 1,674,282	86.8%
企業債	1,850,000	5.4%	2,775,000	8.8%	△ 925,000	66.7%
他会計借入金	820,217	2.4%	820,217	2.6%	0	100.0%
引当金	8,321,878	24.3%	9,071,160	28.6%	△ 749,282	91.7%
流動負債	19,771,273	57.8%	19,017,566	60.0%	753,707	104.0%
企業債	925,000	2.7%	925,000	2.9%	0	100.0%
引当金	11,965,000	35.0%	11,660,000	36.8%	305,000	102.6%
未払金	3,752,435	11.0%	3,395,018	10.7%	357,417	110.5%
未払消費税及び 地方消費税	37,192	0.1%	30,002	0.1%	7,190	124.0%
その他流動負債	3,091,646	9.0%	3,007,546	9.5%	84,100	102.8%
繰延収益	3,416,332	10.0%	27,666	0.1%	3,388,666	12,348.5%
長期前受金	3,416,332	10.0%	27,666	0.1%	3,388,666	12,348.5%
負債合計	34,179,700	100.0%	31,711,609	100.0%	2,468,091	107.8%
資本金	0	0.0%	0	0.0%	0	-
剰余金	0	0.0%	0	0.0%	0	-
資本剰余金	0	0.0%	0	0.0%	0	-
利益剰余金 （△は欠損金）	0	0.0%	0	0.0%	0	-
資本合計	0	0.0%	0	0.0%	0	-
負債・資本合計	34,179,700	100.0%	31,711,609	100.0%	2,468,091	107.8%

（注）構成比率については、四捨五入の関係から合計が合わない場合がある。

業務実績表

区 分	実 績					す ら 勢 比 率					
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
こころ医療のセンター	延べ入院患者数 (人)	103,904	99,207	100,216	96,746	81,329	100.0	95.5	96.5	93.1	78.3
	延べ外来患者数 (人)	61,611	56,827	53,971	51,780	43,377	100.0	92.2	87.6	84.0	70.4
	計	165,515	156,034	154,187	148,526	124,706	100.0	94.3	93.2	89.7	75.3
入院外来収益 (千円)	2,185,598	2,077,495	2,080,439	2,050,436	1,773,772	100.0	95.1	95.2	93.8	81.2	
一志病院	延べ入院患者数 (人)	13,903	14,444	14,353	13,561	13,251	100.0	103.9	103.2	97.5	95.3
	延べ外来患者数 (人)	20,688	19,308	19,364	18,966	18,093	100.0	93.3	93.6	91.7	87.5
	計	34,591	33,752	33,717	32,527	31,344	100.0	97.6	97.5	94.0	90.6
入院外来収益 (千円)	518,408	535,906	560,308	539,590	545,461	100.0	103.4	108.1	104.1	105.2	
志摩病院	延べ入院患者数 (人)	81,177	81,273	72,447	71,082	63,041	100.0	100.1	89.2	87.6	77.7
	延べ外来患者数 (人)	78,159	78,507	76,577	71,133	61,819	100.0	100.4	98.0	91.0	79.1
	計	159,336	159,780	149,024	142,215	124,860	100.0	100.3	93.5	89.3	78.4
入院外来収益 (千円)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	延べ入院患者数 (人)	198,984	194,924	187,016	181,389	157,621	100.0	98.0	94.0	91.2	79.2
	延べ外来患者数 (人)	160,458	154,642	149,912	141,879	123,289	100.0	96.4	93.4	88.4	76.8
	計	359,442	349,566	336,928	323,268	280,910	100.0	97.3	93.7	89.9	78.2

(注) 志摩病院については、平成24年度から指定管理者制度を導入しているため、算出していない項目がある。

業務分析表

区	分	こころの医療センター				一志病院				志摩病院				備考
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	全国同規模病院(R円)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	全国同規模病院(R円)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	全国同規模病院(R円)	
病床数・利用率	計	348	348	348	-	86	86	86	-	336	336	336	-	
	うち一般	-	-	-	-	46	46	46	-	236	236	236	-	病床利用率
	うち精神	348	348	348	-	-	-	-	-	100	100	100	-	年延入院患者数
	病室利用率	78.9	76.0	64.0	67.3	85.5	80.5	78.9	65.9	50.8	51.2	42.5	74.9	入院病床数
患者数	1日平均患者数(人)	275	264	223	174	39	37	36	48	198	194	173	244	年延入院患者数
	入院	221	216	179	154	79	79	74	135	314	296	254	600	年延外来患者数
	外来	53.9	53.5	53.3	60.2	134.9	139.9	136.5	194.4	105.7	100.1	98.1	163.7	年延外来患者数
	入院外来患者比率(%)	15.7	14.0	13.6	12.8	9.8	12.4	12.1	7.7	-	-	-	4.2	年延入院患者数
収入(円)	職員1人あたり患者数(人)	8.4	7.5	7.2	7.7	13.3	17.3	16.5	14.9	-	-	-	6.9	年延医師数
	看護師1人あたり患者数(人)	1.8	1.7	1.5	1.4	1.0	0.9	0.9	1.0	-	-	-	0.8	年延入院患者数
	職員1人1日あたり診療収入	1.0	0.9	0.8	0.9	1.4	1.3	1.3	2.0	-	-	-	1.4	年延看護職員数
	患者1人1日あたり診療収入	17,425	17,806	18,365	20,220	27,879	28,089	28,465	24,061	-	-	-	49,295	入院収益
費用(円)	職員1人1日あたり診療収入	325,527	295,964	295,826	318,878	383,773	491,430	498,137	311,602	-	-	-	302,743	入院外来収益
	患者1人1日あたり薬品費	36,661	36,885	32,392	35,693	40,223	36,560	38,513	40,813	-	-	-	61,279	入院外来収益
対医療収益率(%)	入院患者1人1日あたり給食材料費	830	829	887	360	731	788	792	1,478	-	-	-	3,732	薬品費(投薬注射)
	薬品費	3.3	4.0	4.6	6.3	3.4	3.0	2.3	9.5	-	-	-	12.7	患者用給食材料費
	その他医療材料費	1.6	1.5	2.0	1.1	4.1	3.6	4.5	5.6	-	-	-	11.3	年延入院患者数
	他会計繰入金	45.1	44.8	51.3	56.2	47.2	48.0	48.5	32.6	-	-	-	13.3	薬品費

(注) 1 本表の数値は、総務省決算統計データに基づき算出している。
 2 全国同規模病院(R円)は、「令和元年度地方公営企業年鑑(総務省自治財政局編)」より、「こころの医療センターは「精神科病院」、一志病院は「50床以上100床未満」、志摩病院は「300床以上400床未満」の平均を引用している。(許可病床が同規模の病院と比較)
 3 病床数・病床利用率の計は、療養病床・結核病床・感染症病床を含む。
 4 志摩病院については、平成24年度から指定管理者制度を導入しているため、参考として記載しており、また算出していない項目がある。

令和2年度三重県公営企業会計（病院事業庁）
決算審査意見書

令和3年9月

三重県監査委員事務局
〒514-0004 津市栄町1丁目954番地
電話(059)224-2924